

成年
コミック

獣耳の

Lycoris of Kemomimi

1

電子限定

特別収録★

描き下ろし

12P!!

★★★★

Presented by Kyougoku Touya

京極燈弥

獣耳のリコリス

Lycoris of Kemomimi

1

京極燈弥

Presented by Kyogoku Touya





Contents

005

1話 (『ダスコミvol.2』収録)

027

2話 (『ダスコミvol.3』収録)

047

3話 (『ダスコミvol.4』収録)

067

4話 (『ダスコミvol.6』収録)

093

5話 (『ダスコミvol.6』収録)

115

6話 (『ダスコミvol.7』収録)

135

7話 (『ダスコミvol.8』収録)

155

8話 (『ダスコミvol.9』収録)

175

9話 (『ダスコミvol.10』収録)

195

9.5話 (電子版限定)

この国には『奴隷』と呼ばれる
『人種』が存在する。
人工生命・ホムンクルスと
呼ばれる者達だ…。

第1話

それらは人工生命ゆえに
人間からモノとして
認識され管理されている…。

—そして『奴隷』を
奴隷たらしめるのが
刻まれた淫紋である。

国の重要な
財源となっている。

『奴隷』は国営店のみ
売買が許可され—

淫紋を発動させることで
『奴隷』は快楽に支配され
所有者の意のままになる。

これに対して国は
『奴隷』の厳格な管理を
義務つける
『奴隷管理法』を制定—。

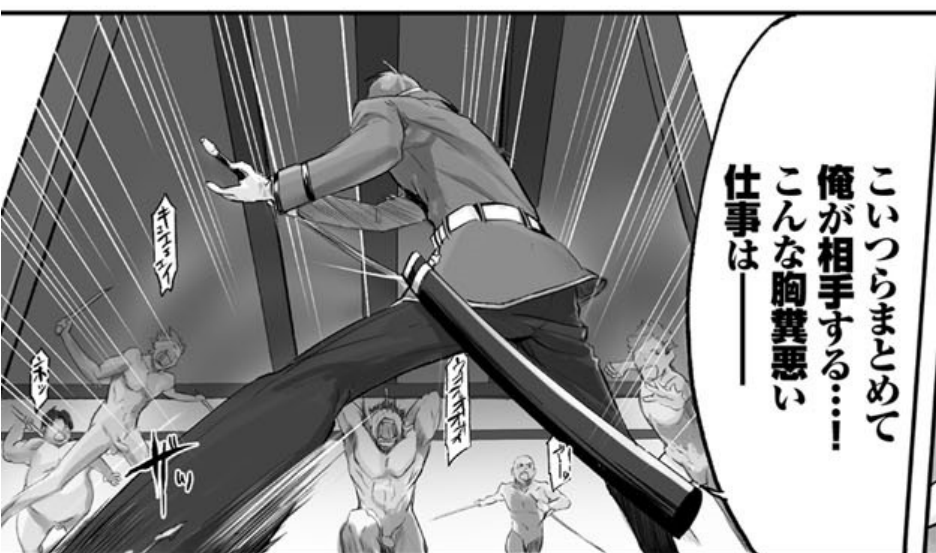
不法な『奴隷』売買や
扱い等に対し
厳罰を科すようになった…

—だが結果として
『奴隷』犯罪が多発し
治安の悪化を招く
一因となってしまった。

—というのが
この国の『奴隷』に
関する法の一部だ









それが…
リストにない
『奴隷』が一体…

何？
リストにない

だ—と

たぶん非正規ルートで
入手した『奴隷』っすね
その割には手つかずなのが
ちよい気になります…

……
この耳の切れ込み…
リサイクル品だ…

あーなるほど

商品にしようとしたが
発育不良とかの理由で
放置された…
といったところか？

調教痕が無いのも
納得っすね…で
これはどうします？

……なぜだか
この『奴隷』を見てると
なんかこう…

懐かしい…ような
不思議な気分…？

せんぱい

……

…んぱい？

先輩！

せんぱーい
寝てるんすか？

はっ

さつきから
呼んでたのに！

だからって
急に顔近づけるな
気持ち悪い！

それより
リストよこせ！

理不尽っす！

確かに『奴隷リスト』に
載ってないな…
漏れてことはい
だらうな…？

全部裏取ってるんで
それは絶対ないっす！
だから先輩の判断を
仰いだんっすよ



…見たところ
外傷はない



若干衰弱して
見えるが

薬物を使われた
形跡もない…



…本当
どうします？

どうするも何も
登録のない『奴隷』は
管理所へ行きだ

そういうことだ

ああ…
処分…つすね…



クライヴ
魔色迷彩は
持ってきてるか？

一応ありますケド
…先輩まさか？



…
そうだな…



そのまさかだよ

『奴隷』は
俺が保護する

あー…普段
クソ真面目で堅物なのに
変なところで大胆なんすから…
まあ報告書は適当に
でっち上げときますよ

ああ頼んだぞ
やはり持つべきものは
理解ある後輩だな！

こんな時だけ
調子いいんす
から…









大した身体つき
ではないが...
ここからはそられる
ものがあるな...

やはり俺にも
『奴隷』所有願望が
人並みにあったのか...?

ほら
股開いてみる





なっ!



!?

血っ!?



さすがに
きついな…!

半分も挿入^{はい}つて
ないのに—



遠慮なく
突っ込んだらよかったが
大丈夫…っ!?



すまん!
『奴隷』に処女なんて
いないと思っていた!



そういうことなら
こっちも好きに
やらせてもらおうっ



そうだな

…確か淫紋には
痛みを快感に変える
効果があったっけか…



さすが『奴隷』…
もう膣内^{なか}がほぐれて
完全に俺のを
咥え込んでる…!



根元まで
ずっぽりだ

愛液もあふれて
泡になってる



それに小ぶりだが
胸の感度もいい…っ



だが…
なんといっても











なるほどな…
これが『奴隷』と
いうものか…

確かに
みんな夢中に
なるわけだ…

体力根こそぎ
持っていかれた
みたいだ…

……
ねむ



……
猫の耳…
かわいいな……

ぽやー

スッ……



そんなこと
言ってくれるの

——ふっふ

あの人とバルドくん
だけだよ…



TO BE CONTINUED...

なんだこの音…
あとなんだ
この感触…?

股間が
温かいものに
包まれて…

あゝ…

ナニやってる
お前さん？











そろそろ…
で…
射精そうだつ！

ッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

っく！！

セッ

セッ

セッ

セッ

ッ

ッ





しゃべれないなら
今はそれでいいさ

…とはいえ、奴隷^{こいつ}を
理解せず保護するのは
得策じゃないなあ…

職場に行けば
記録を調べられるん
だがなあ…

今日は非番だし…

……しかしえらく
おとなしいな

食事の時は
あんなに強引で
騒がしいのに…

俺しかないんだ
少しぐらい
気を緩めても
いいんだぞ…？



ナニコレいらいぞ

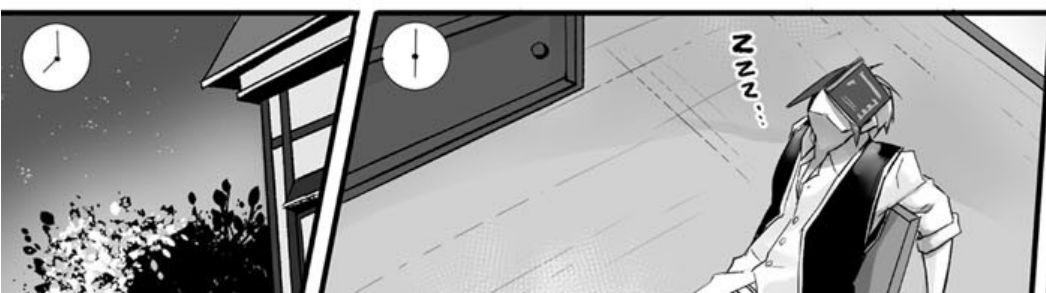
気にかけた相手に
無視されるのは
『新人教育』任された時
以来だな……っ

耳は「レレ」動いてるし
聞こえてるはずだが……

……まずは
奴隷から調べるか……
昔勉強したが
記憶が曖昧だしな……

……しかしまさか自分が
奴隷所有者になるとは
夢にも思わなかったぜ……

何かあったら言えよ？
俺は隣の部屋に
いるからな……





あー...いや別に
責めてるわけじゃないんだ
ただせつかく部屋を
使っていいのに
もったいないだらうて



ビクッ

この臭い――

まさかお前



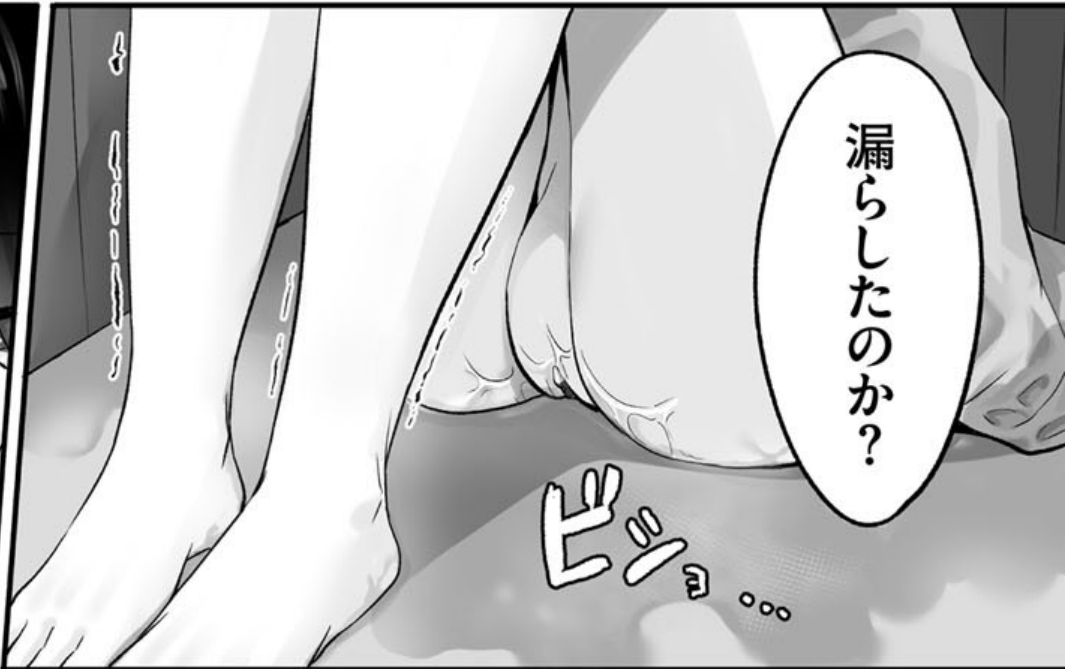
へたん

そんな耳へたんと
させなくても
――ん？



漏らしたのか？

ビショ...



おい

しかもこの量...
一回じゃないな
何回もここで
出したのか？



気持ち悪かったろ
すぐにきれいに
してやる

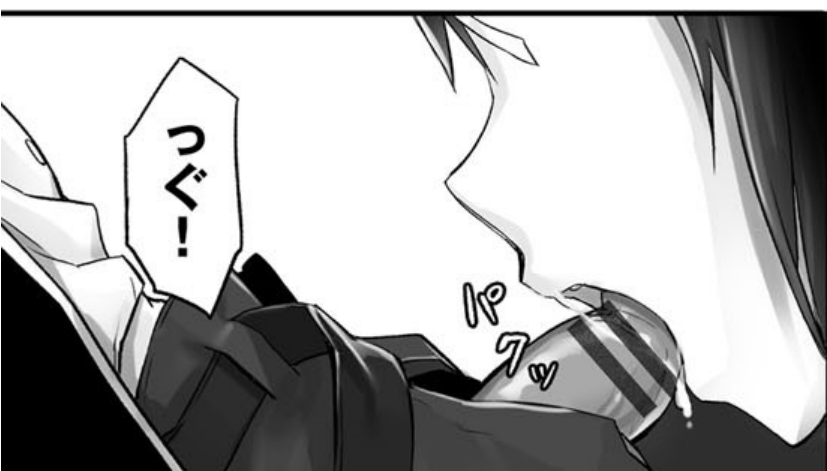
俺が気にするべき
だった…
すまなかったな
ほらまずは
風呂に行こう…!

!?



!







……作り出されてから
こいつに何があったのか
俺は知らない…

俺が知ってるのは—
地獄のような場所に
いたってことだけだ…

そんな俺に
こいつの感情を
理解できるわけない…

……だからこそ
俺はこいつを
救わねばならない…!

ちゃんと俺が
面倒見てやる…
だから心配するな

!

ぎゅ

アッ…





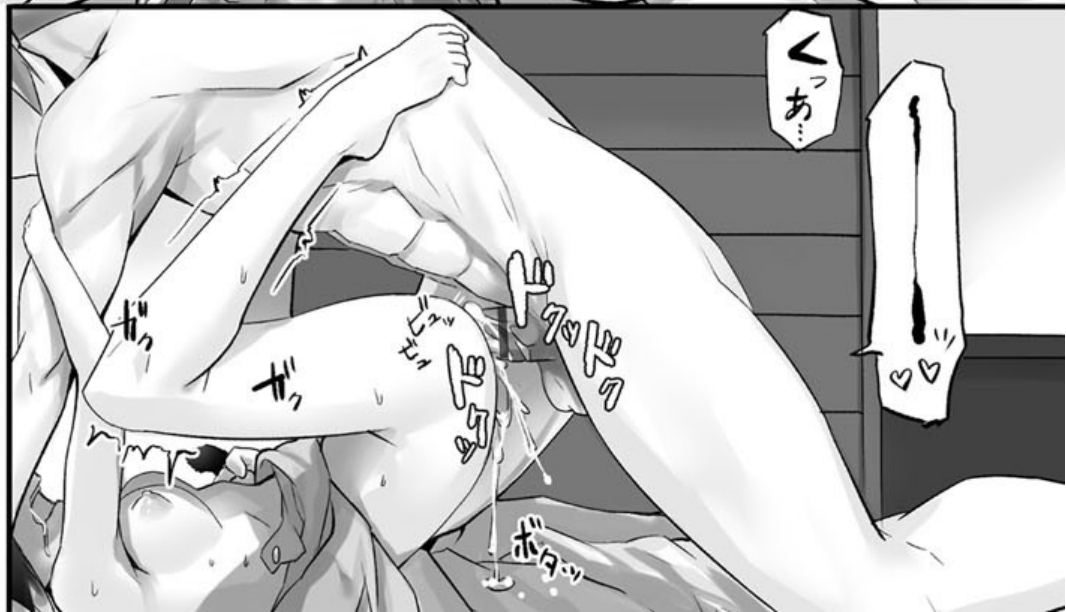
つながったまま
耳なめられるの
好きだな...っ



なか
膣内の絞めつけが
断然強くなるっ!



そろそろ
射精そうだ!





ぐ...すごい快感と
脱力感...っ



何...心配するな
お前に不自由は
させんよ

これは
鍛え直さないと
いけないな...



...

クハハハ 奴隷の相手
というのは
意外と大変だな...



TO BE CONTINUED...

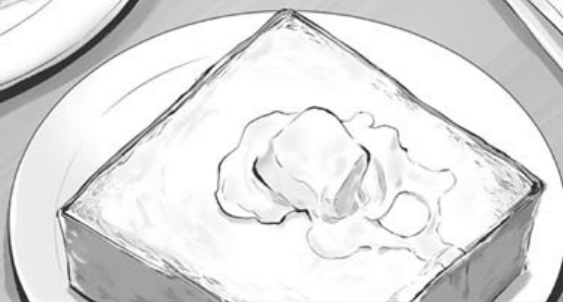


よし...

さっ風呂入って
さっぱりしようぜ
二人だとちと狭いが



コト



普通の食事でも
腹は膨れるんだろ？
だったらそれ食べろ



おい…なんだその
不思議そうな顔は？



……とまあ
お前に必要な物を
買いに来たわけだが

さすがに奴隷産業で
栄えた国だけあって

こうやって見ると
意外と奴隷連れって
多いんだな…

しかもそれなりに
身だしなみが
しっかりしている

それにくらべ
こっちは…

くたあ

つーこつて
まずは服だ！

仕方ないことだが
服のいたるところが

ヘーヤ

痛んでボロボロに
なってるな

ボロボロ

奴隷専用
モール

このままじゃ
人目が気になって
買い物もできん！

ここなら
大抵のものは
そろってるはずだ…！

カキ
カキ
カキ



初めて入ったが
…普通の人間の店と
変わらんな…



まあ…
まずは服だな！



へえ…

耳やしっぽ用の
アクセなんかも
あるのか



おおっなかなか
いいんじゃないか？

サイズも
ぴったりだ



これなんかどうだ？



店員を
呼んでこよう

……



ほう、

いいじゃないか！
見違えたぞ



.....

いらつしやい
ませ〜



よしっ
それを着たまま
買い物の続きをしよう

会計してくるから
待っててくれ

ありがとうございます
ごさいます



※魔法が使える者のみが持てる国指定の紙幣。価値が変動しない





人目がない所まで
来たが…
帰るまでもちそうか？

ふっ…

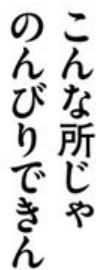
ハッ

ハッ♡

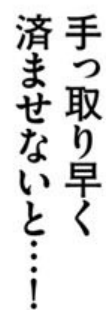
…その顔を
見る限り
無理そうだな…

分かったよ
ここで慰めてやる





いっ
い
かん
…







もう限界か
…待ってろ
今シてやる！

壁に手をついて
こっちに
尻を向けろ…



よし…
いいコだ！



いくぞ！



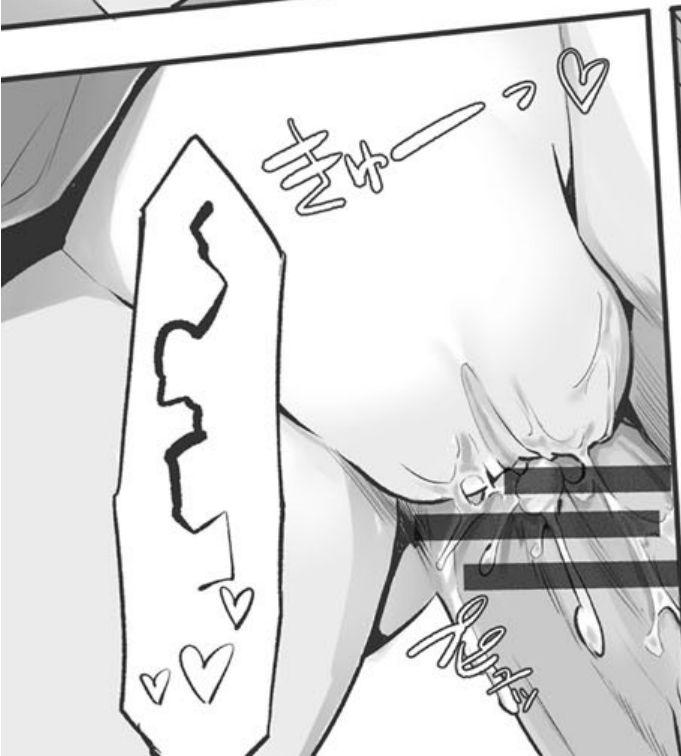
嬌声が出ないのは
こういう時
助かるな…！







そろそろ
で
射精そうだっ!!



お前も一緒に
イケッ!!





——無事帰宅

ただの
買い物のつもりが
えらい目にあったな

憲兵が野外プレイで
検挙とかシャレにも
ならんわ…

でもまあ

服一つで随分と
かわいらしく
なるもんだな！

…だがまあ今日は
さすがに疲れたな…
買い物はまた今度に…



昨日は隣で寝た
はずなんだ――

ボロボロの
奴隷服をまた纏い…



こつ然と
姿を消していた

TO BE CONTINUED...



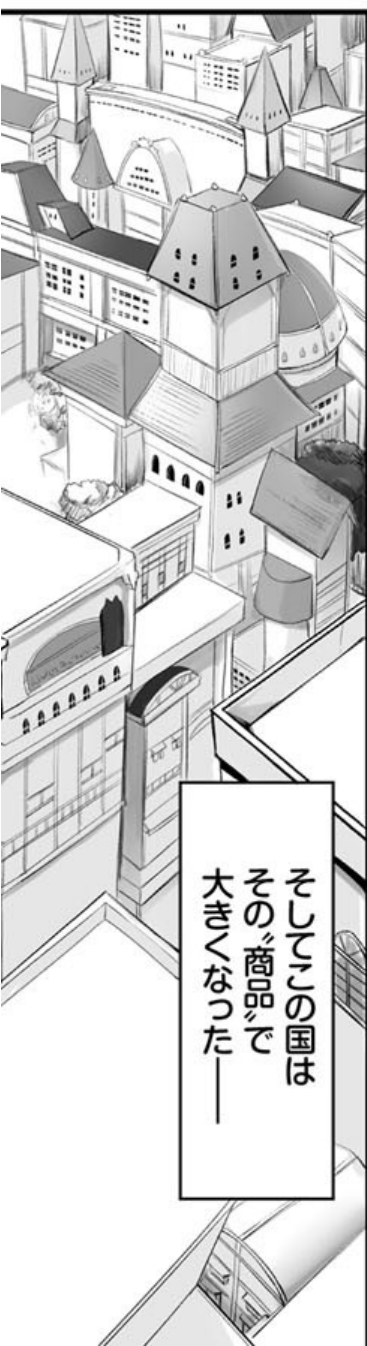
あいつらは
人が作った
人造人間で――



ホームクルスの
気持ちなんて

分かるわけ
ないだろ――

第4話



そしてこの国は
その商品で
大きくなった――



飼われる
商品でしか
ないんだ

高尚な趣味を持った
人に買われ――



だからこそ
ホームクルススの
管理は重要だし

それが俺の
仕事だから

なんの疑問も
持つ必要なんて
なかった――



アイツを保護したのは
ほんの気まぐれ――

もしアイツが
『保健所』に
連行されたとしても

俺につながる情報は
絶対に発見できない



――俺は別段
困ったりはしない



違う!!



違っだらっ！



そっじゃない！！



己の未熟を
アイツに
なすりつけるな！



そっじゃない

もう一度よく考えろ
アイツはなぜ逃げた？

保証された衣食住を
放棄してまで
逃げ出した理由は――

問題は野良になった
ホームクルスは
例外なく保健所行きで…

いやっ
今考えるべきは
そこじゃないっ！

例外なく――

殺処分だ



ひとまずは
周辺の搜索から
だな……!

まずはアイツが
観てきた景色を
たどってみるか……

この街で見たものは
そう多くないはずだ



つまり夜中のうちに
外に出たことになる

——寮母は
アイツを
見てなかった

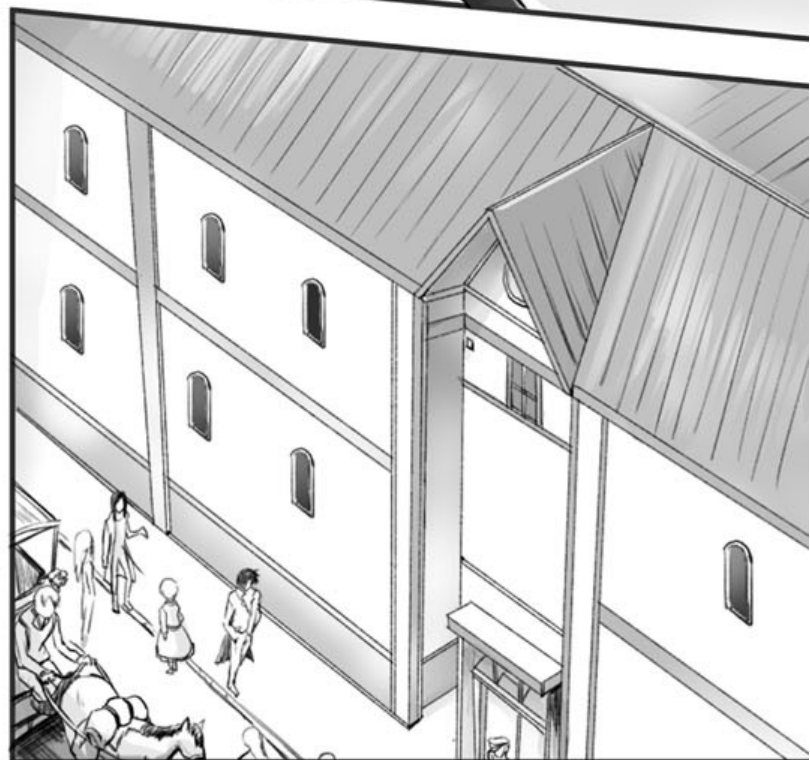
見当たらない…



夜中もやっていて
ホームクルスがいとも
変じゃないあの店なら
思ってたんだが――

次はアイツのいた
奴隷商がねぐらに
していたあの宿――

あんな所に
戻るとは
思えないが…



当然…いないか



あの奴隷商の
足取りも遡ったが…
見つからなかった…



あとアイツの
行きそうな場所…
いや…



行けそ…な…場所







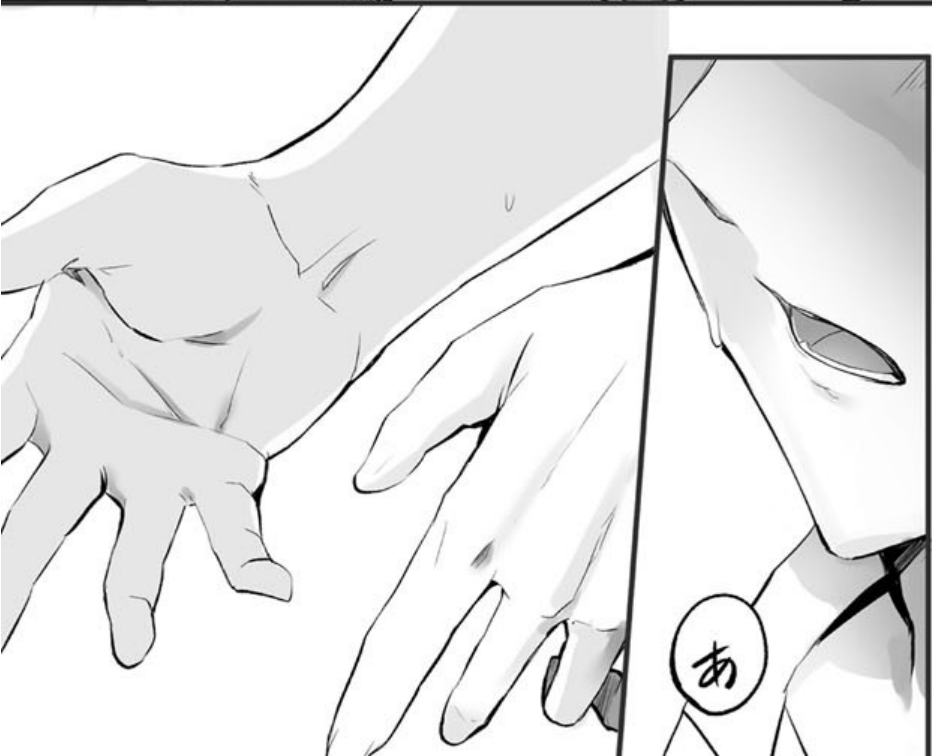
灯台下暗しとは
まさにこのことだな



随分探したぞ



そうだよな…
普通に考えれば
そんな遠くに
行けるはずな—



ぽ

が

慣れない環境に
いきなり来たんだ…
どうしたらいいか
分からなくなるよな

何も怖がる
必要はない

もう大丈夫
なんだ

ッ

あそこを
お前の居場所に
していい

だから

帰ろう

ギィ
ギィ



淫紋が
発動してない
…？

ん？



まあいい…何より今
俺がコイツを
抱きたい気分だ！



そろそろかと
思ったんだが…





そうか...
今のはキスと
言ってたな

コク

コク

ぱ

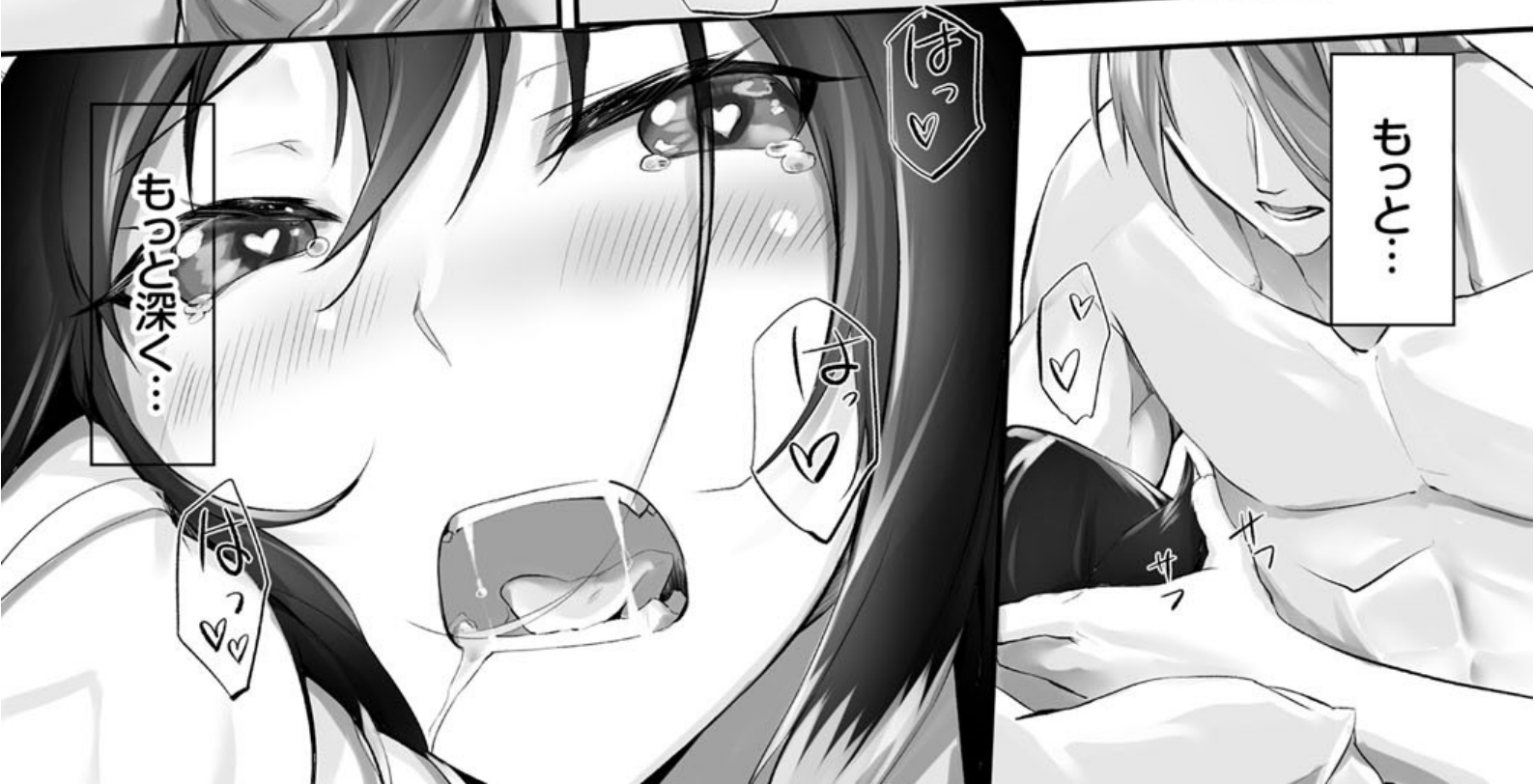
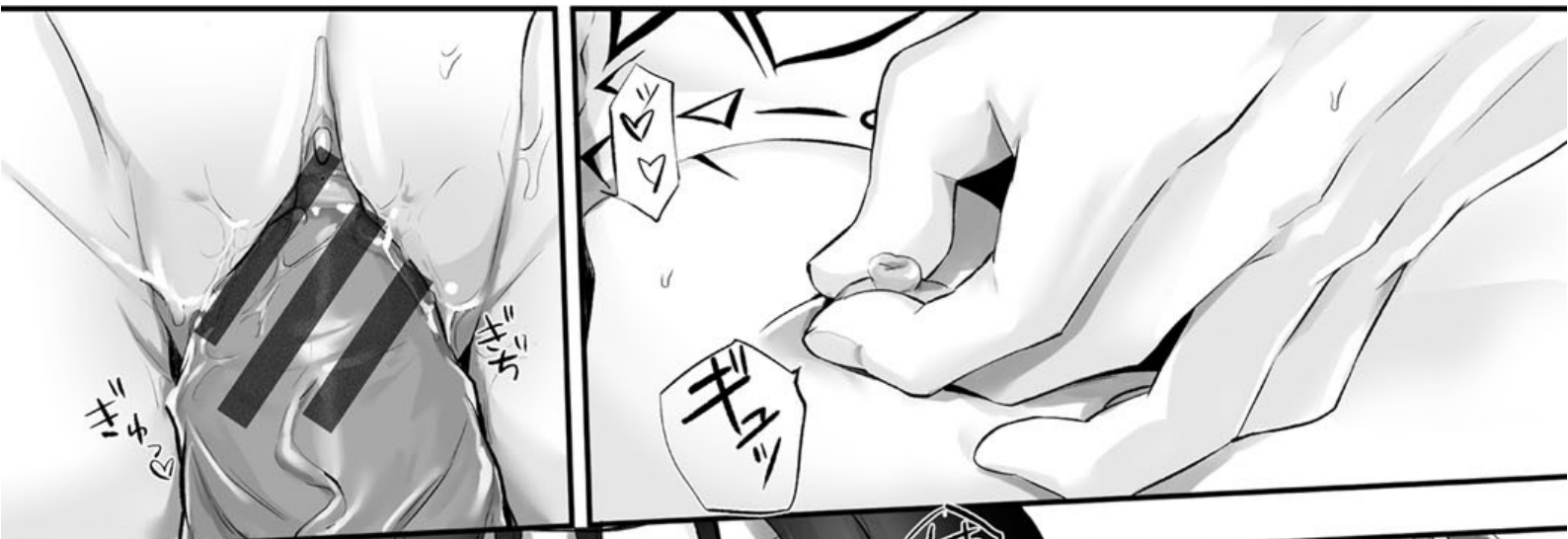
ぱ

大切に思う
相手にする
行為の一つだ

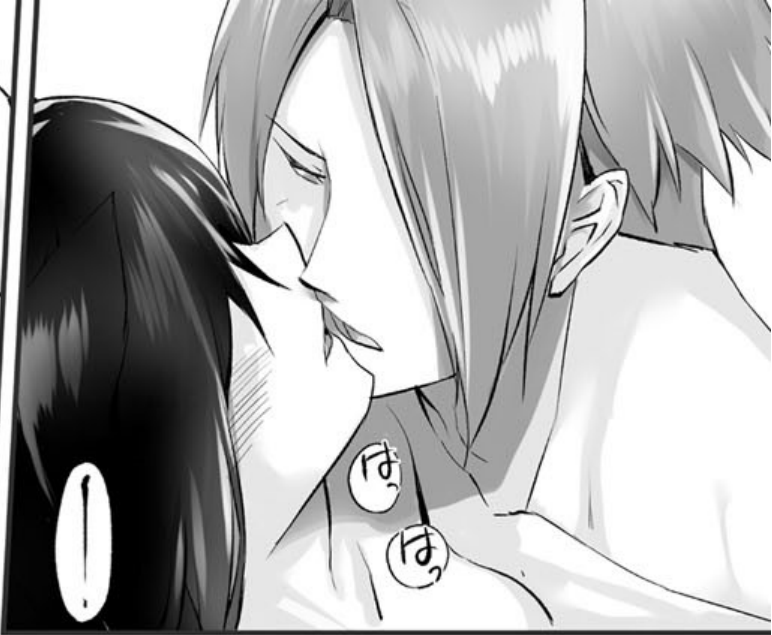
がば







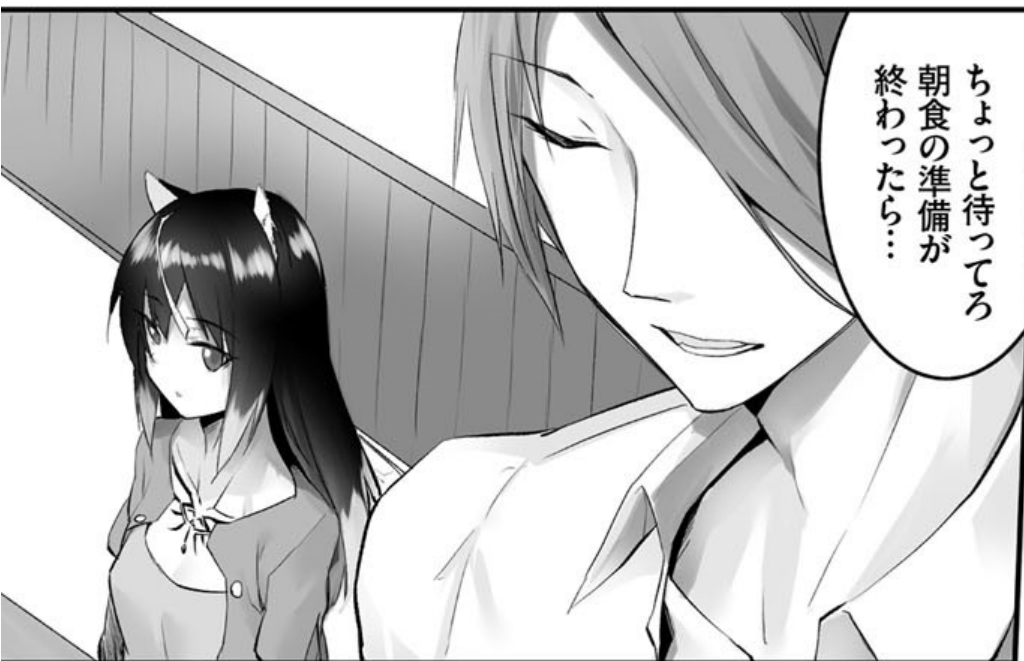




くっ...そろそろ
で
射精そうだった！







※フォーク、ナイフ、スプーンなど、食事の際に手に持って使う器具の総称。





お前はコーヒーって
飲んだことあるか？

いやまあ…
ないだろうな
今までのお前は—

……

あー…



…名前…
名前を決めよう

いつまでも
『お前』呼びじゃ
不便だし…
何より心に良くない



お前の雰囲気は
どこか……

そうだな…
昔どこかで聞いた
あのきれいな音のする
東洋の飾り物…

……





そんなもって上からは
欠勤理由を問い詰められ
ごまかすのめっちゃ
大変だったんっスよ!!

…まあ冗談は
このくらいにして
フォロー助かった

冗談…

ガッ

………で
結局あのコは
先輩のどこに？

ああ…
アイツがらみで
ちとドタバタ
していた

へん…

奴隷の
扱いにくさを
痛感したよ…

みんなよく
気軽に楽しめる
もんだよ…

あ、その書類
出しな。わたし。

ペラ

…？
奴隷が扱いにくい
ですって？

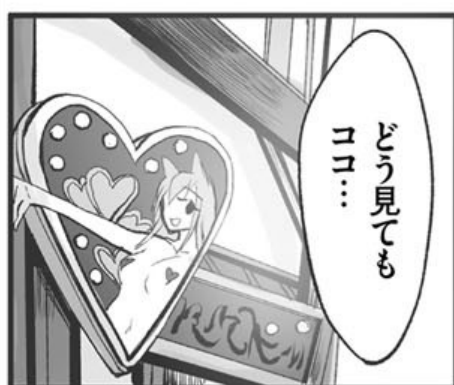
ああ

これは先輩
異なことを
おっしゃいますね

ギ

奴隷ほど
分かりやすいのも
ないでしょ？

ピク





あつ
それは♪

…で今日は
どういう用件で
こんな場所に
呼び出したんだ？



あ？

先輩の
社会勉強
っす！

ってことで
こっちっす！



ういっす！
遅刻しましたッ！
寝坊っす！

殴るぞ？

こんな場所で
待つ人間の
身にもなれよ！

（へっ）



先輩は、奴隷のことを
カタログスペックで
見るから
ダメなんっすよ！

ってことで
奴隷達の
現在のっ

生き方っを

ちゃんと見るのが

うふあ♡



一番
なんっす!!!

あーぎもちー♡





…このお店は
初めてですか？

R+
まあな



それじゃ早速
始めますね…



……

コト足りている
ように見えました
ものですから…



やはり
そうでしたか

…
なぜ
そう思う？

なんとなく
ですが…

雰囲気…
でしょうか？
こういう店に
来なくても…



…しかしせっかく
お越しいただいた
のですし…

今日は存分に

この身体を
楽しんでいって
くださいませ…♡

ズ



コッ

「自発承認型の淫紋…
…ということとは
ノア生態研究所の
商標奴隷か…」

入っている基礎能力は
『話術』『口淫技術』
『美声』か…

薬物使用の
痕跡等はなし…

お客様の…♡
すごいご立派
ですね…♡

くらくら
きちやいます♡

スズネがどれだけ
劣悪な状態にあったのか
よく分かるな…

もっとつまく
取り締まる
方法を—

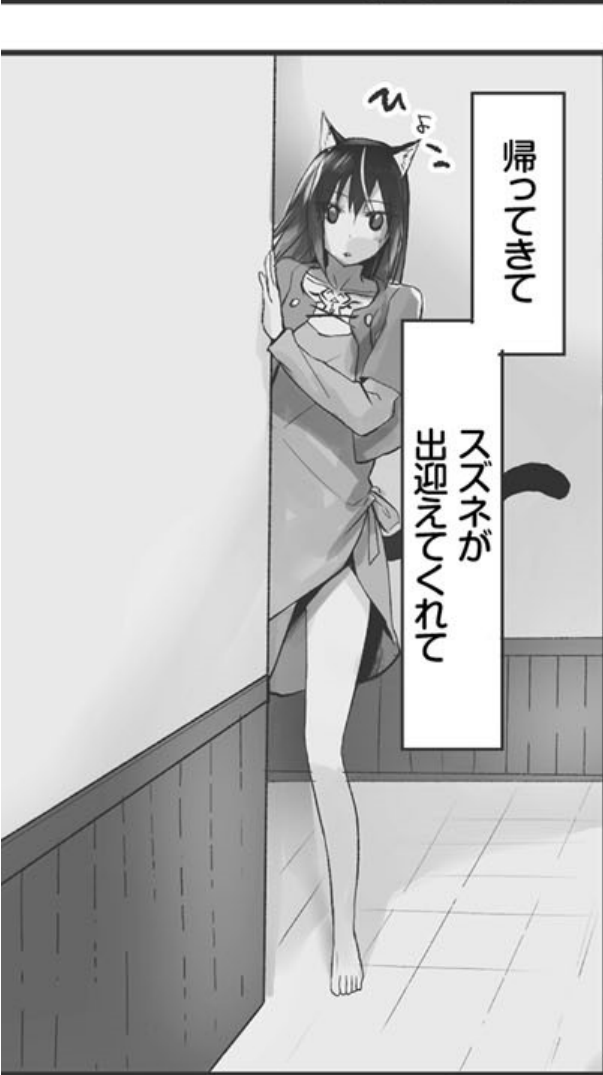
他に外傷等は無し
魔力状態も良好

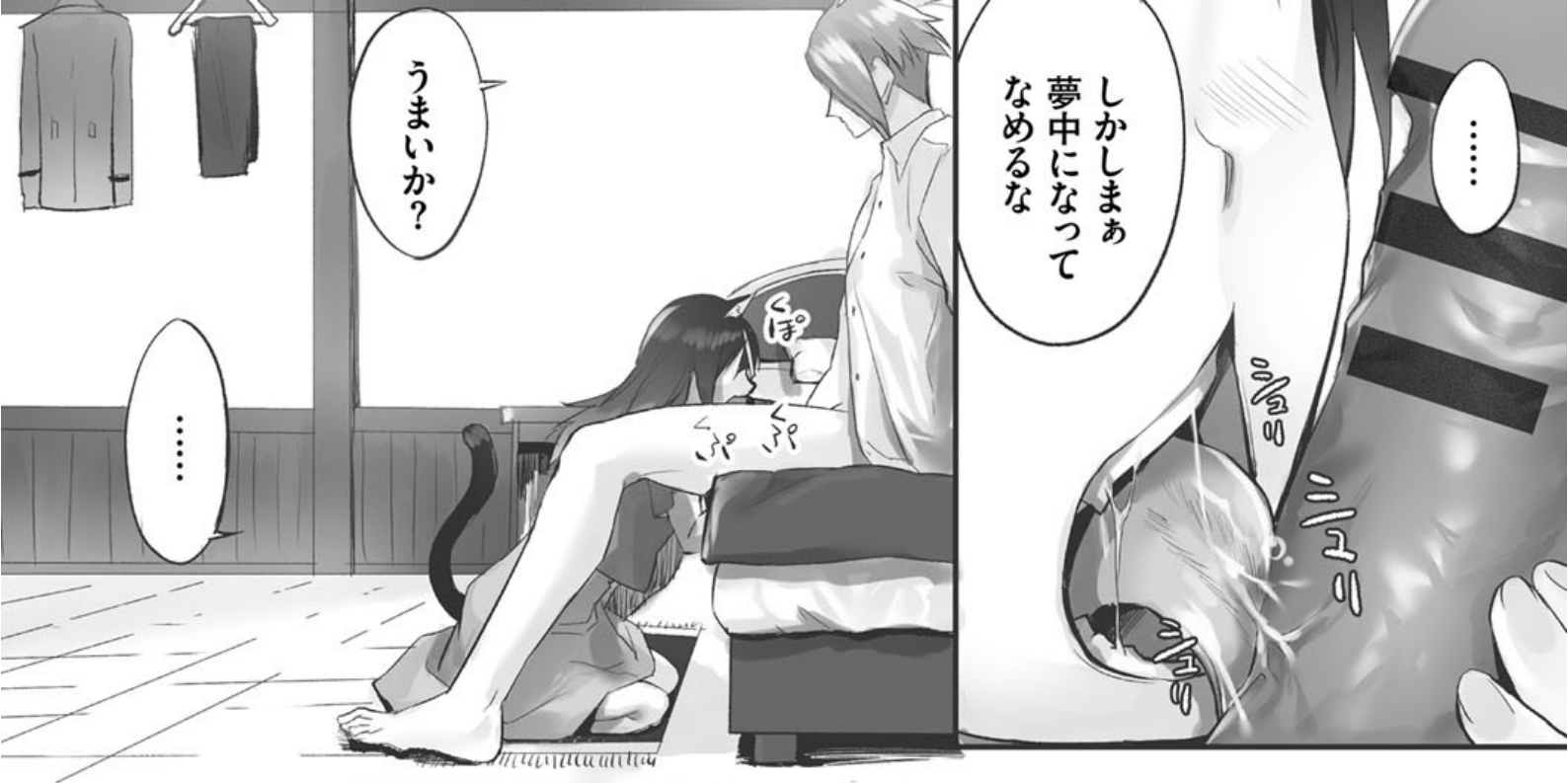
—



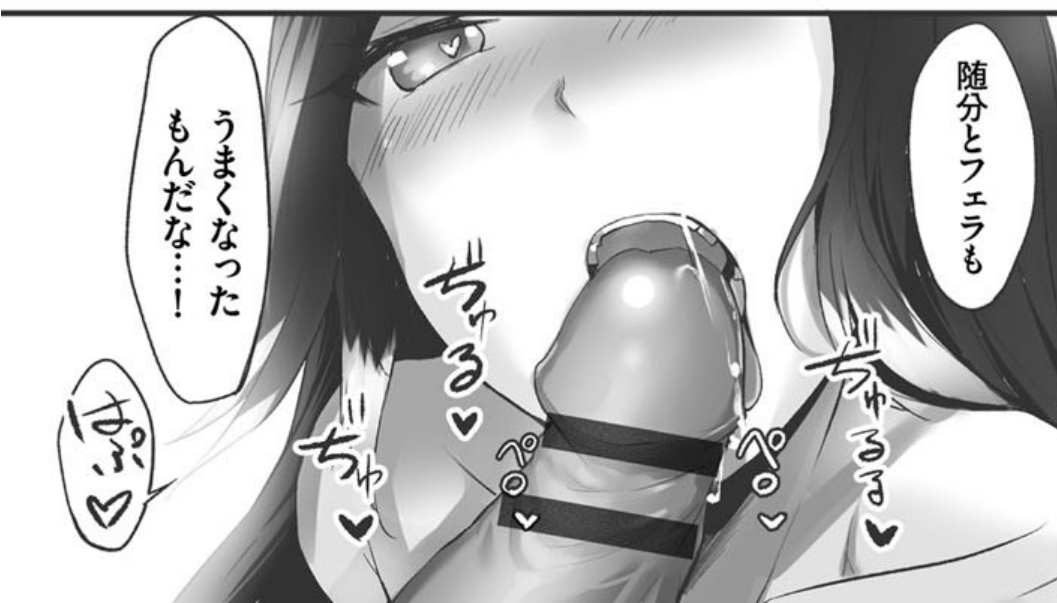
…で

ちゅ
ちゅ
ちゅ











ぽぽぽ

ぽぽぽ

ぽぽぽ

ぽ

...きょろきょろ

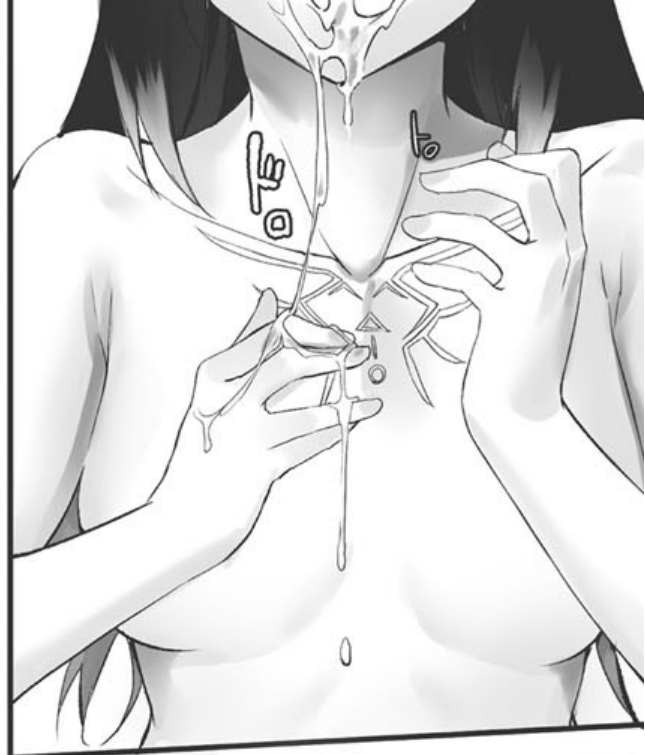
ちゅぽい

射精で
射精する!

ちゅぽい

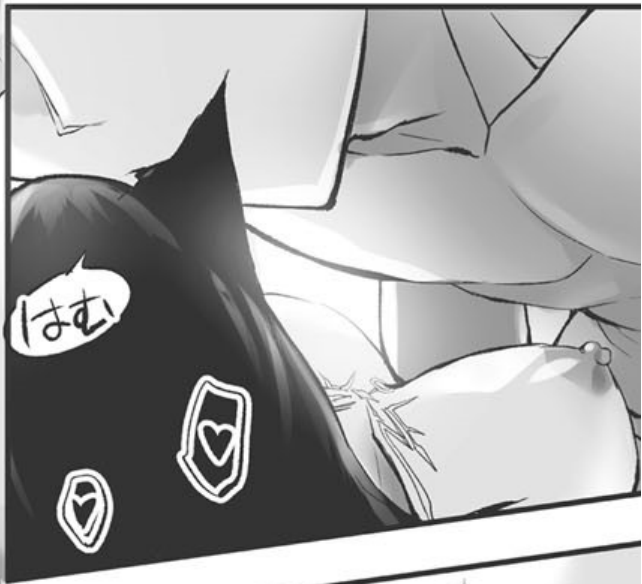
X

ぽぽぽ









また...っ
射精るぞ！







お前も入れるから
待ってる...



お久しぶりです
お兄様っ！

TO BE CONTINUED...

獣耳の リコリス


Lycoris
of
Kemomimi

タッ

リーシャ！
いつの間に！

とうか
どうやって
部屋に入った！

お久しぶりです
お兄様
お邪魔しますわ！

ピッキングで

今どきの
お嬢様学校は
ピッキングも
教えてるのかよ！

って待てっ
どまに行く！

まさか
淑女の嗜み
ですわー

…もちろん
お兄様の
大事な女性に

ご挨拶を



フンス



……まあ
あのお兄様が
慌てるんです

少しだけ
待ちましょうか！

こっこれは…



まずいんべに

なつた…



？

ズーン…

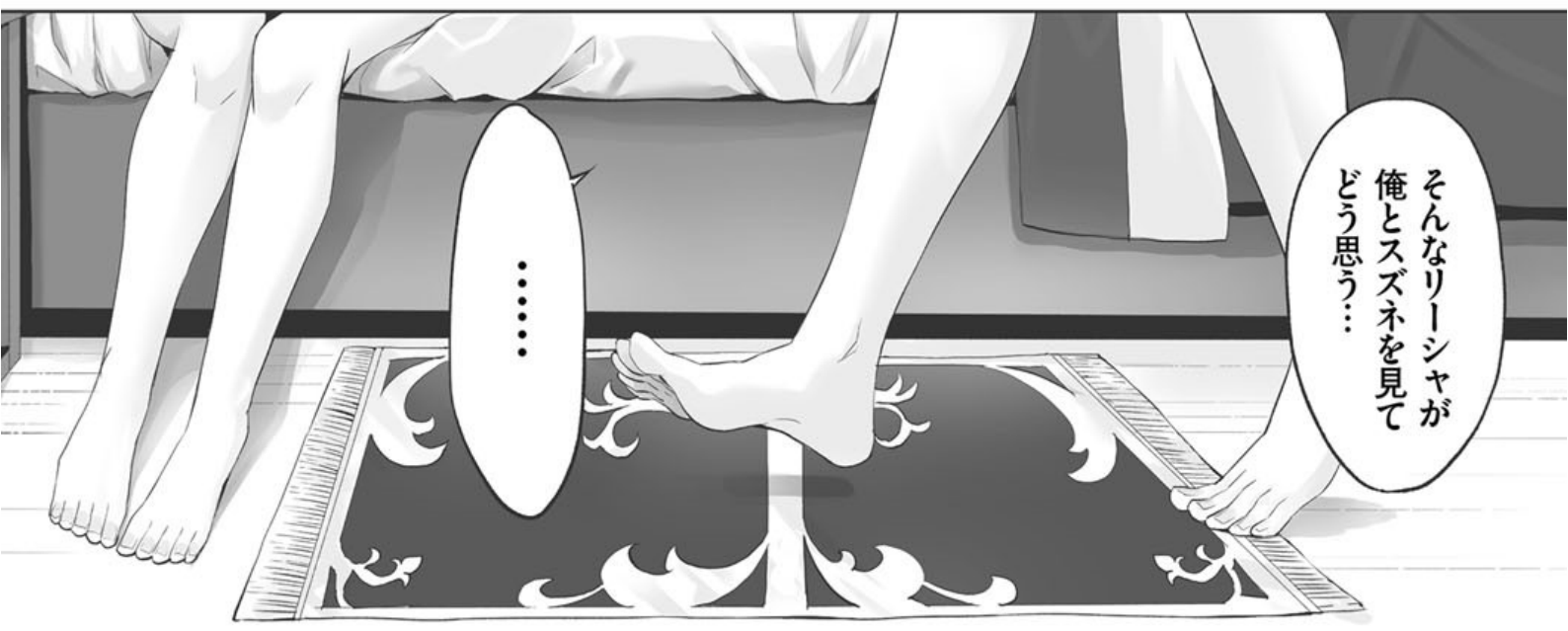


妹のやつ…
なぜいつも突然
やってくるんだ…

はー…

それよりも
この状況は
まずいな…っ







…スズネ
どこかに少し
隠れててくれないか？



それが難しそう
ならば……

衣装棚は中身
入っていない段が
あるし



負荷が少しかかるが
『透過のスクロール』を
使ってもいい



お前が
家にいないよう
見せかけたい



最悪…窓を伝って
外に出てもらうか

——ッ

いや…外から
それを見られるのも
まずいか…!

スズネ?
聞いているか?

?

きゅっ

!?

ガッ





こんなところ
リーシヤに
見られたら――

頼むから話を
聞いてくれ！

そんな場合
じゃ――

はッ

なぜ今…
キスッをせがむ！

今のはキスッと
いってな

大事だと
思える相手にする
行為の一つだ

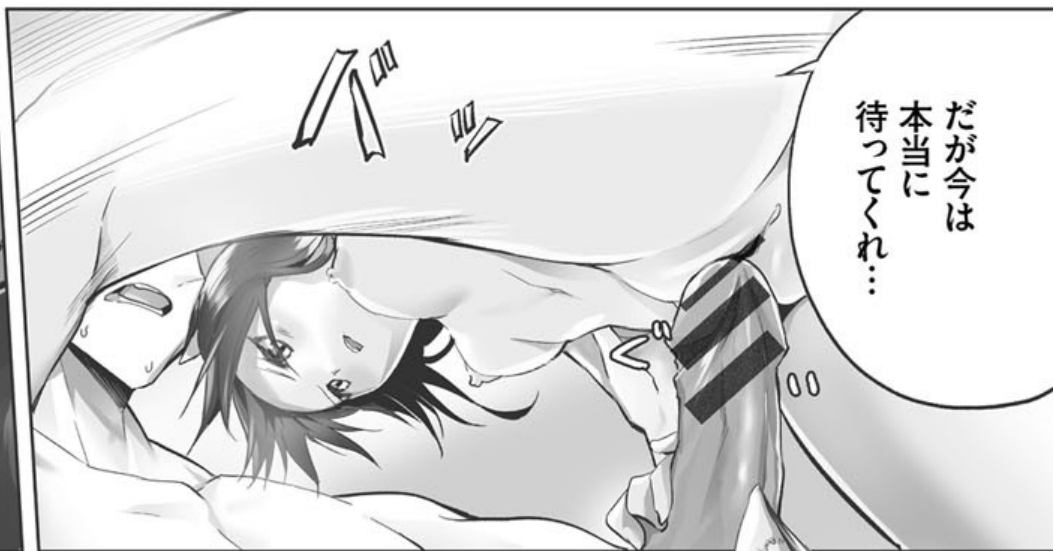
ああ…
そうか

スズネに
とっても…

俺はそついう存在
とりたいのか？

トゥ

トゥ





...まだそんなに
濡れてないのに...

痛いに決まっ
てるだろ!



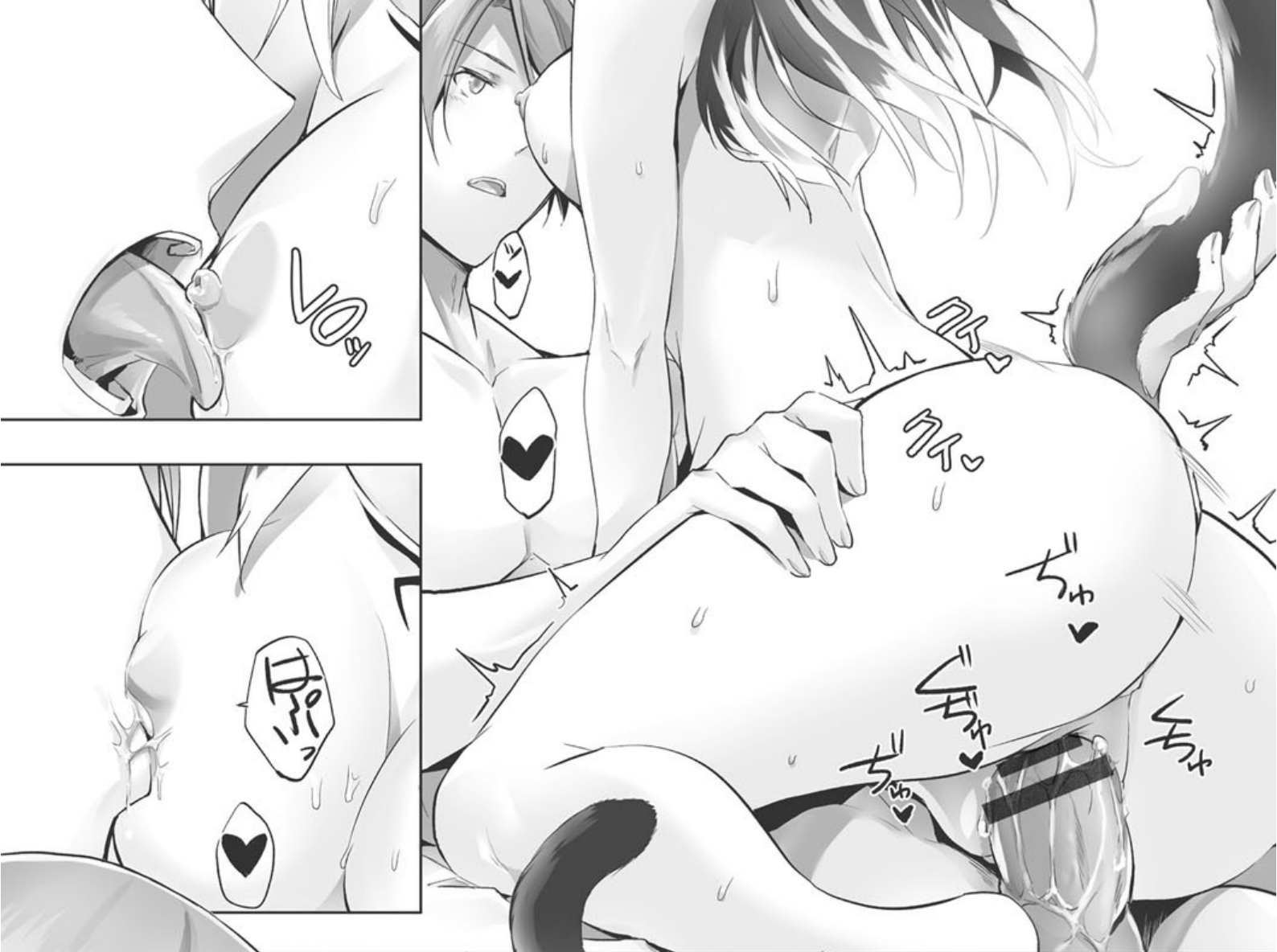


こういうのは
お互いの気持ち
が大事なんだよ

どっちかだけが
頑張っても
ダメなんだ…!



ほー

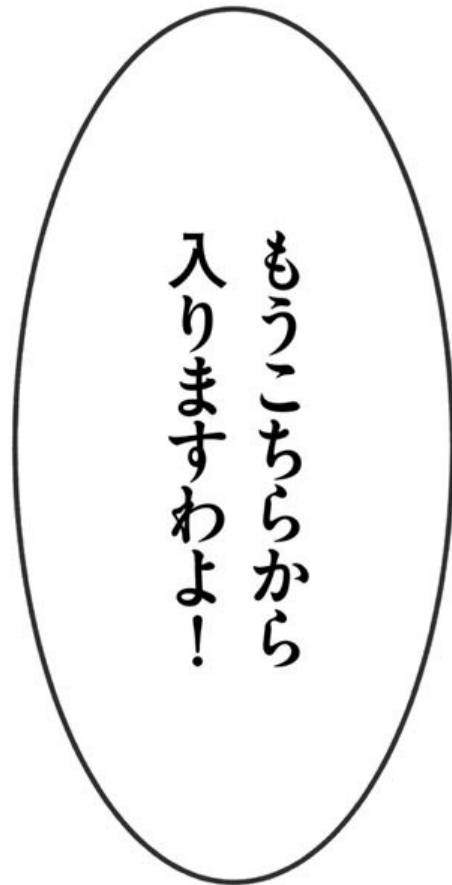


ほら…っ
気持ち良く
なったる？











お邪魔
しますわ！
おにい——



さき...

キ...



ホホホ——

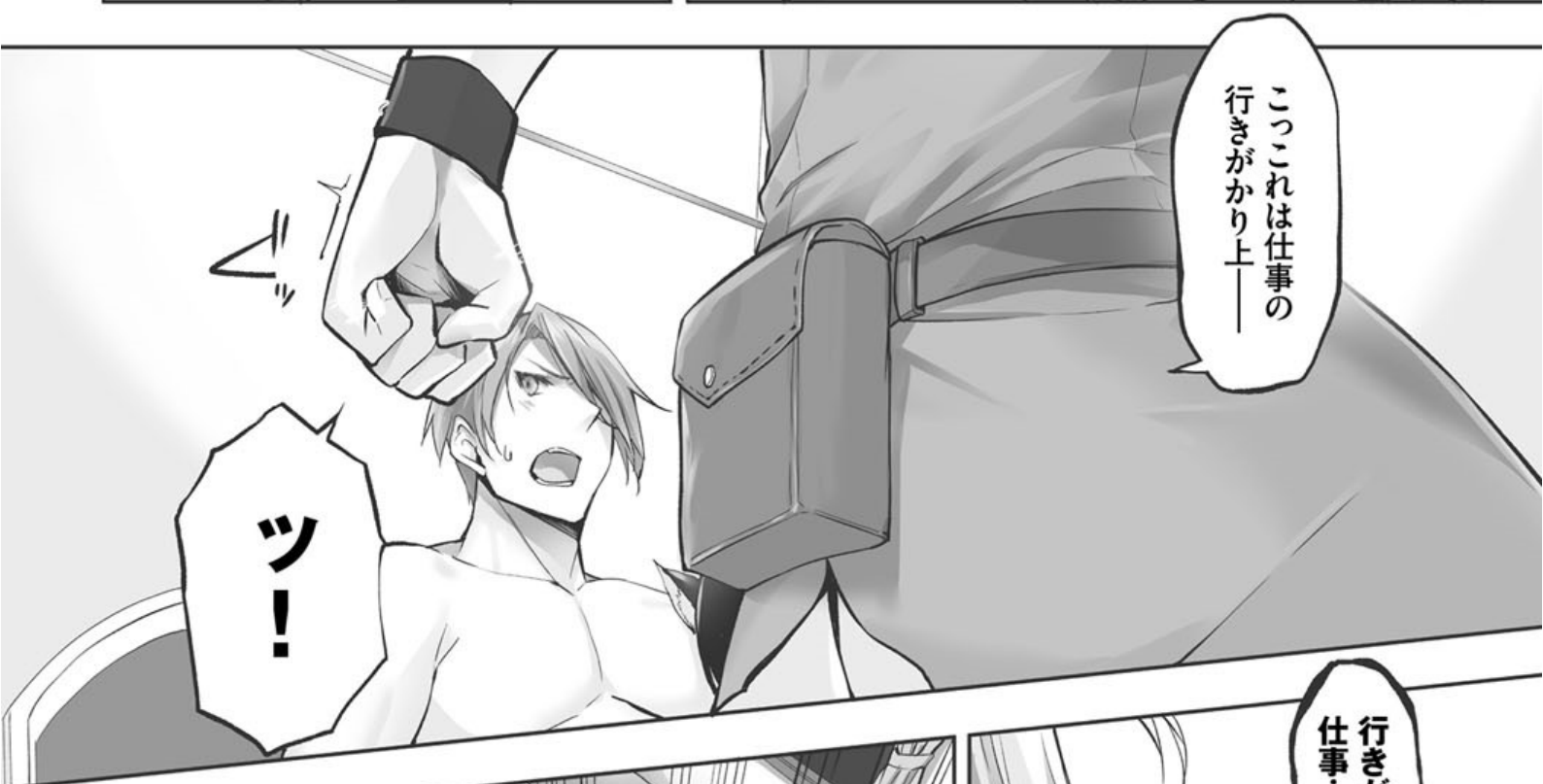
ホムンクルス!?

やっちゃった...

あああ...俺の迂闊...

TO BE CONTINUED...





お兄様が
憲兵になるの

反対だったの！



何がそんなに
気にかかっている？

リーシャ…

なぜ俺が奴隷と
接することを
そんなに嫌がる？

……



?

…いえ—

…

…—そ
それは…お兄様が
♪ホームクルスに—

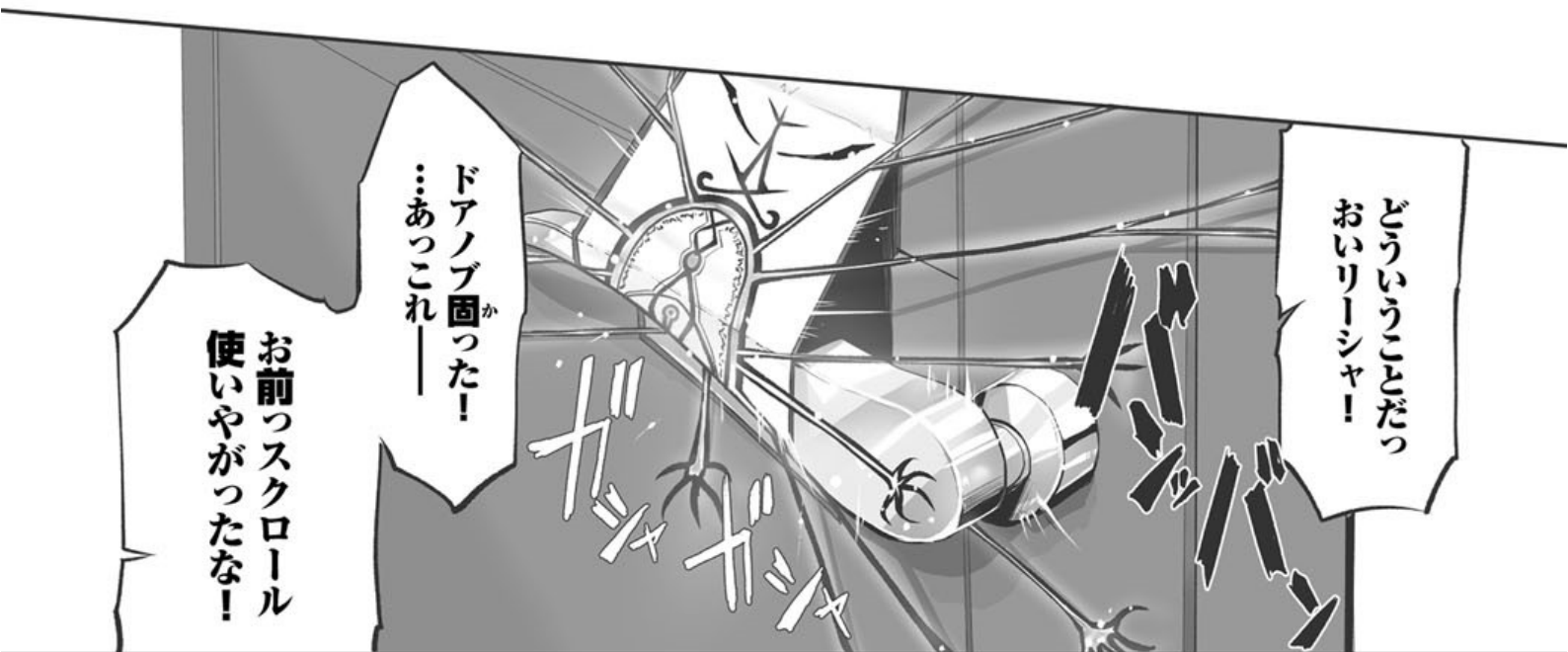


それはっ！

お仕事を
おろそかにするのを
心配してのこと
ですわっっ！

お兄様が
♪奴隷♪との
快楽に溺れて

ナニ？！





やはりお兄様は
優しい…っ

「この」
奴隷にも
情が移ってるのは
明白…

なんとか
しないと…

「ホムンクルス」と
人間を
同じに見てしまう…

あの頃の…
何もできなかつた
私ではないの
だから——

もう…

まずこの口を
知ることから
ですわね…

ふう

顔をあげて
くださいませ

ふん

ならば…

淫紋は
二重トラル…
最低限機能してる

なのに話せない…?
原因が他に?

あまり気は
進みませんが
魔法で…

見た目も全然
許容範囲ですし♡

がしっ

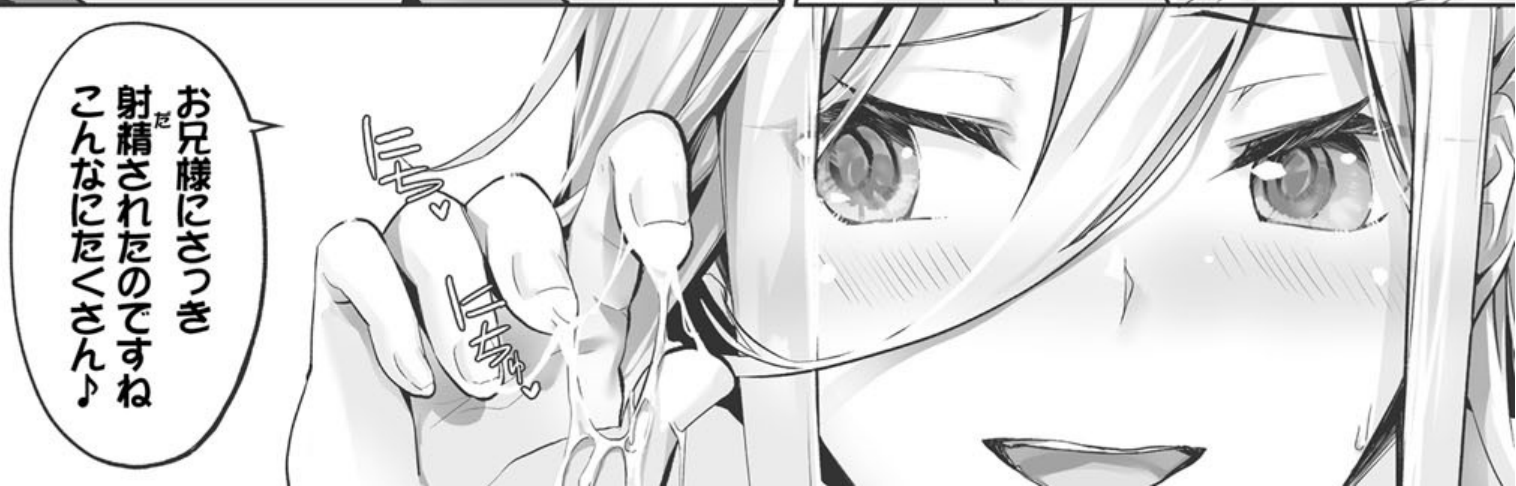
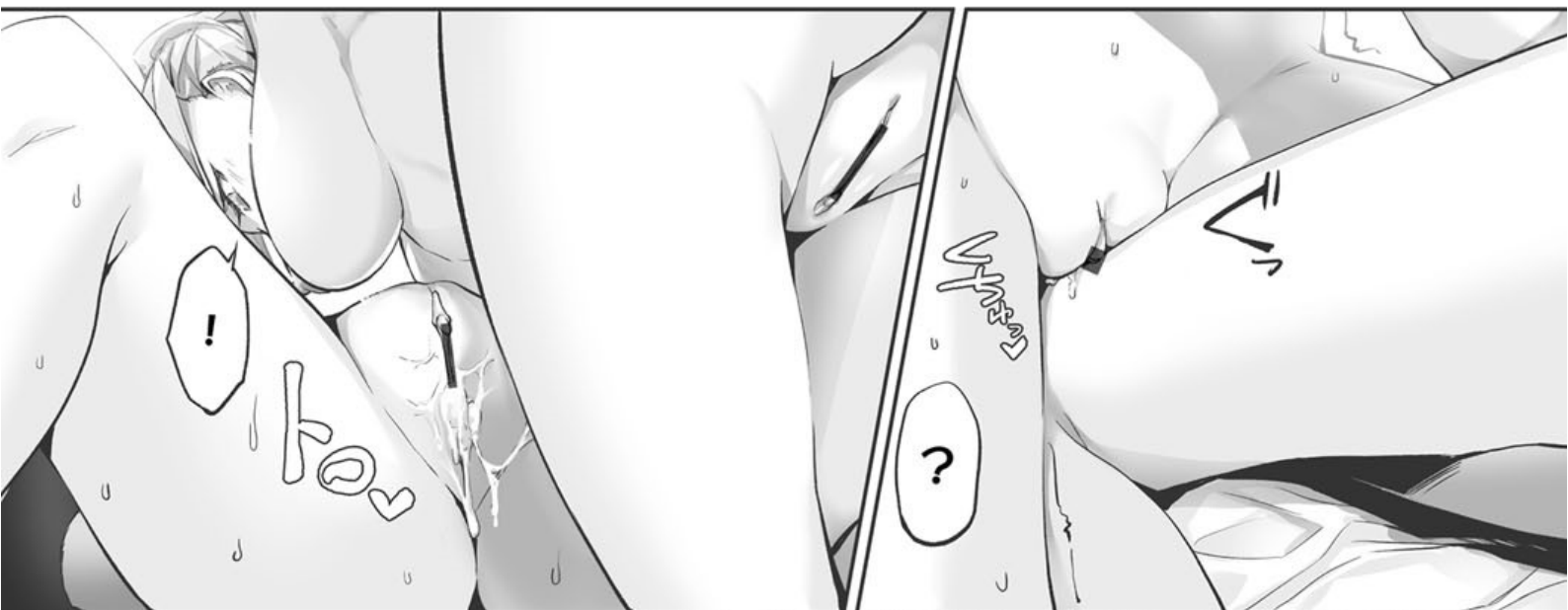
あなたのこと
見せてください

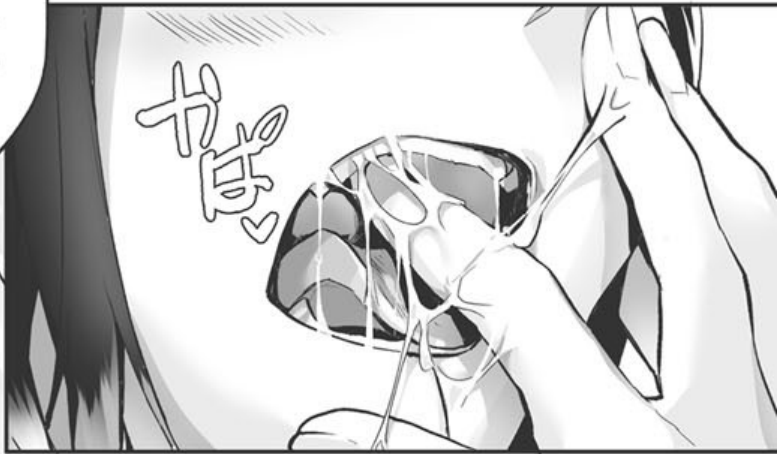
少し強引
ですけど…

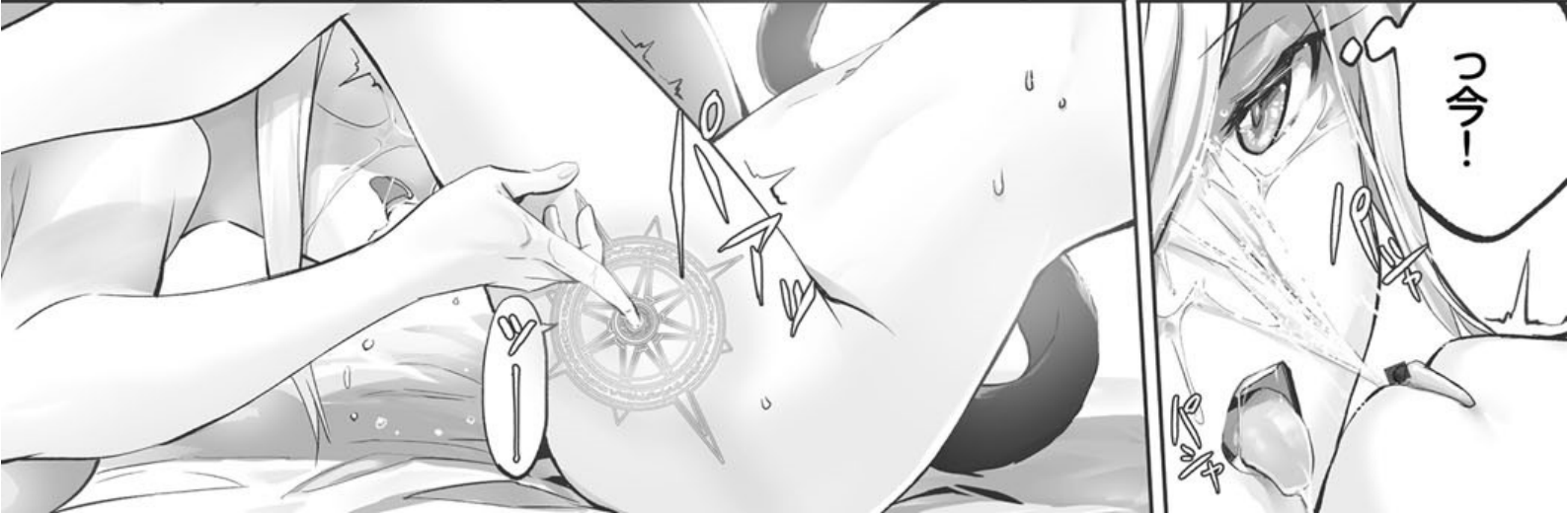












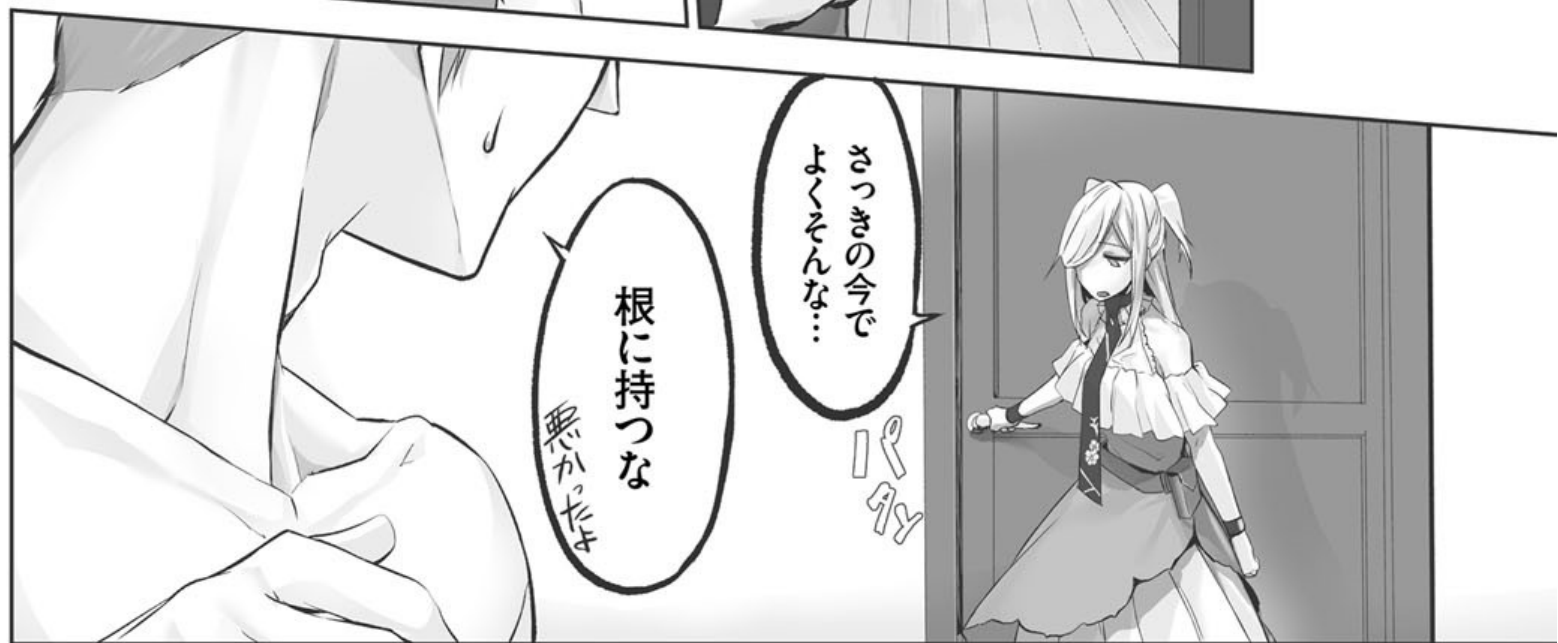


私の魔法は
その者の魂が揺らぐ時
その色を見ることが
できる……



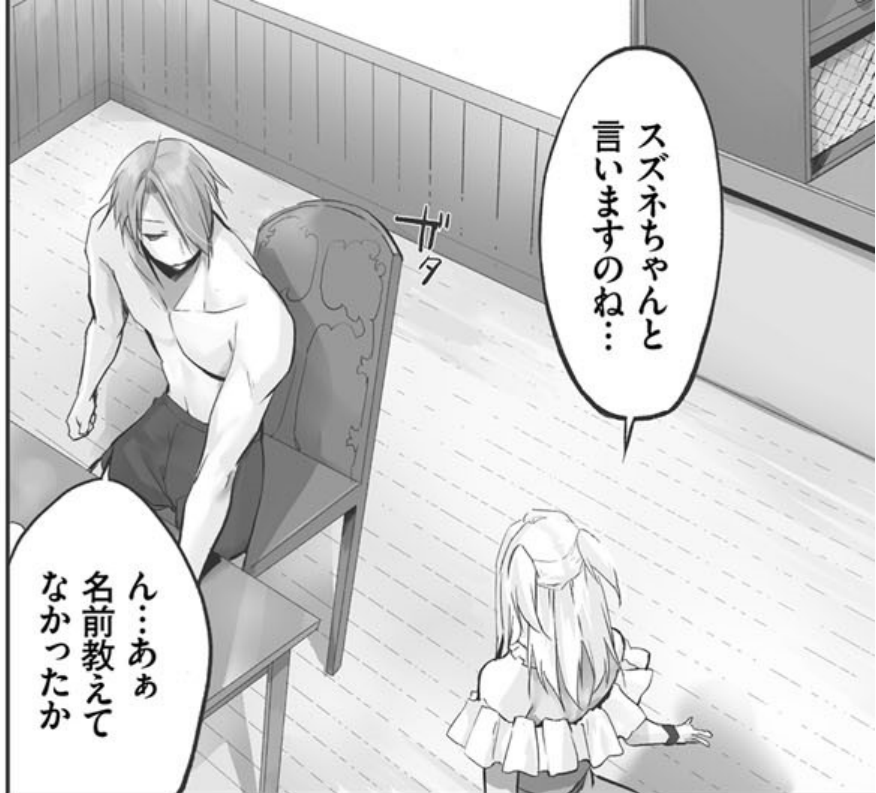
—ああ…

そういふ…んや
でしたか…



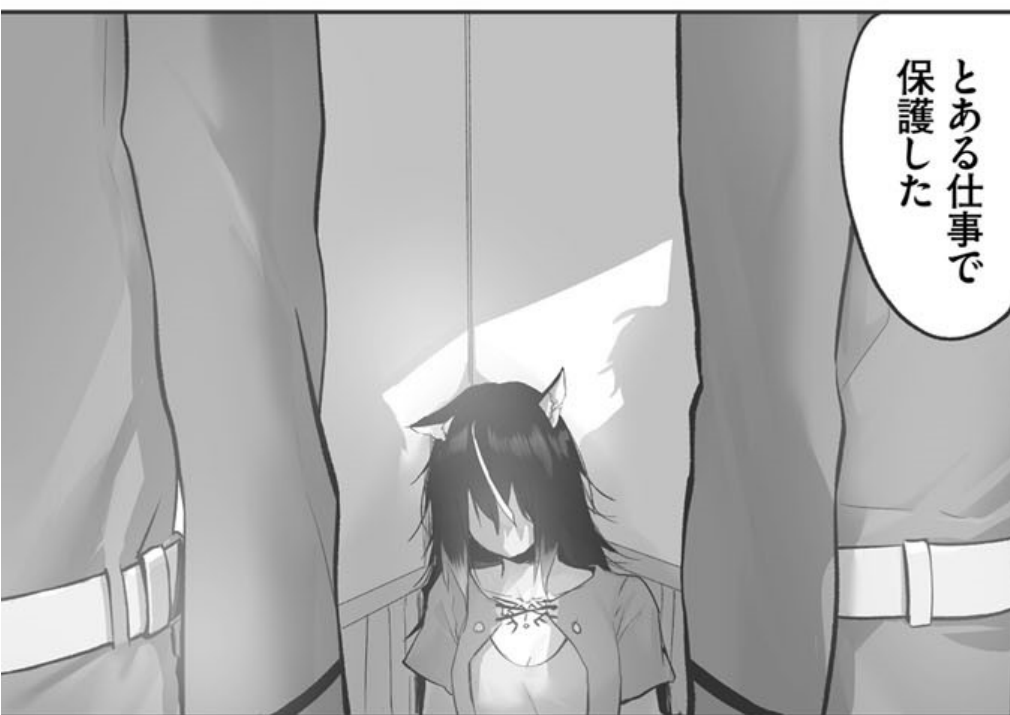


—
あのユとは
どこで…?



スズネちゃんと
言いますのね…

ん…ああ
名前教えて
なかったか



とある仕事で
保護した

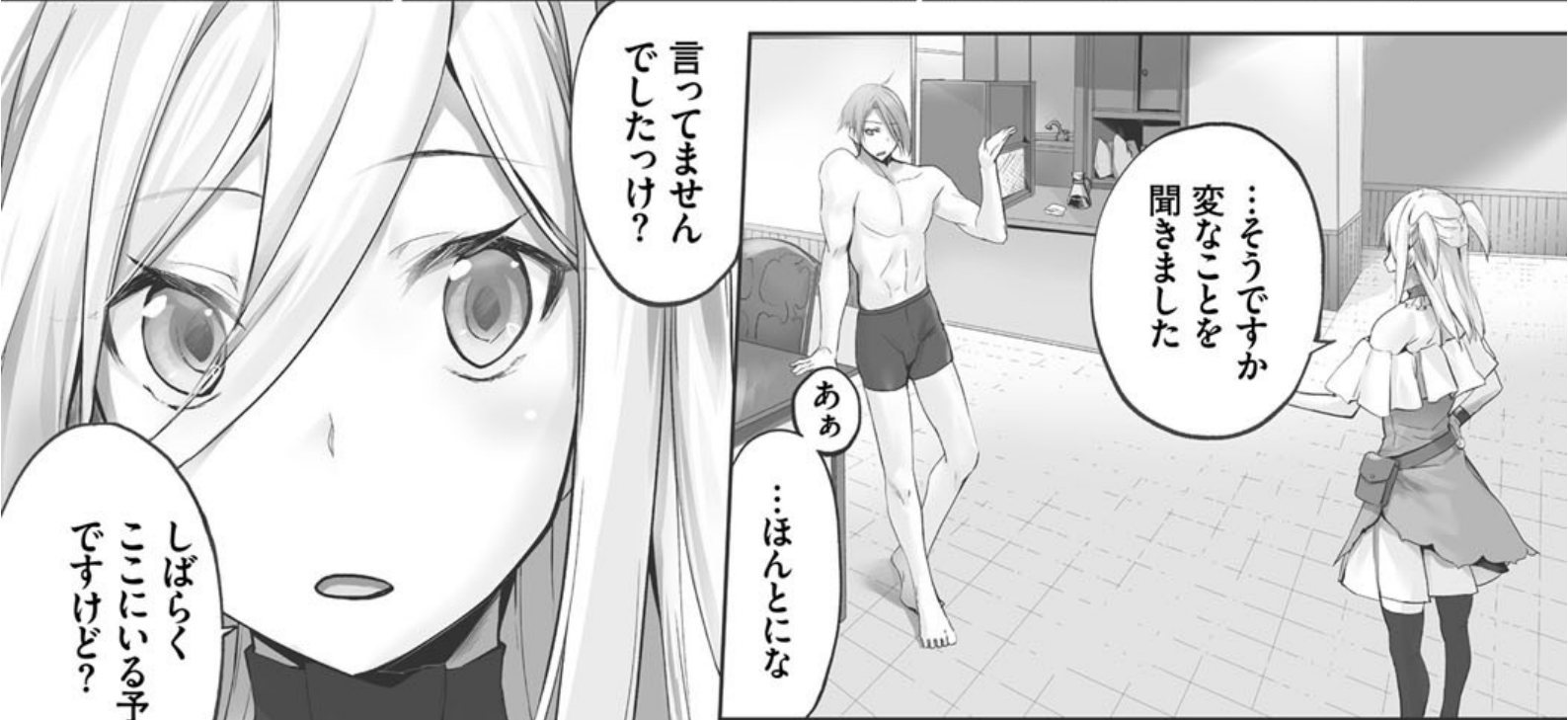


リサイクルされた
奴隷のようだな

保護リストにも
載ってなかったから
俺が…まあ引き取った



憲兵には守秘義務が
あるんだがな…



…というわけで
やってきました

この街一番の
商業アーケード！

転ぶなよ

お兄様の部屋に
生活用品が
全然ないからじゃ
ないですか？

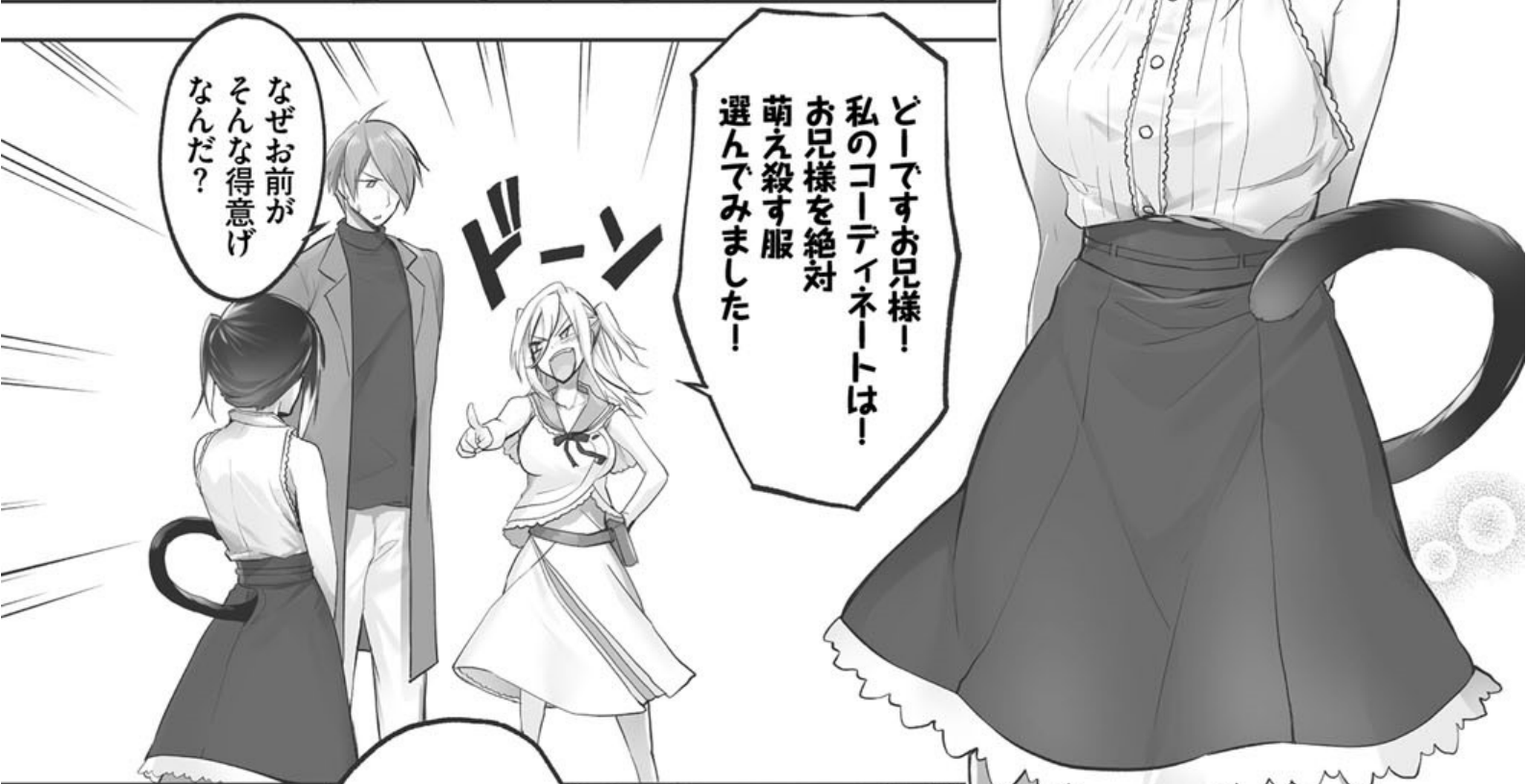
貴重な非番に…
どうしてこうなった

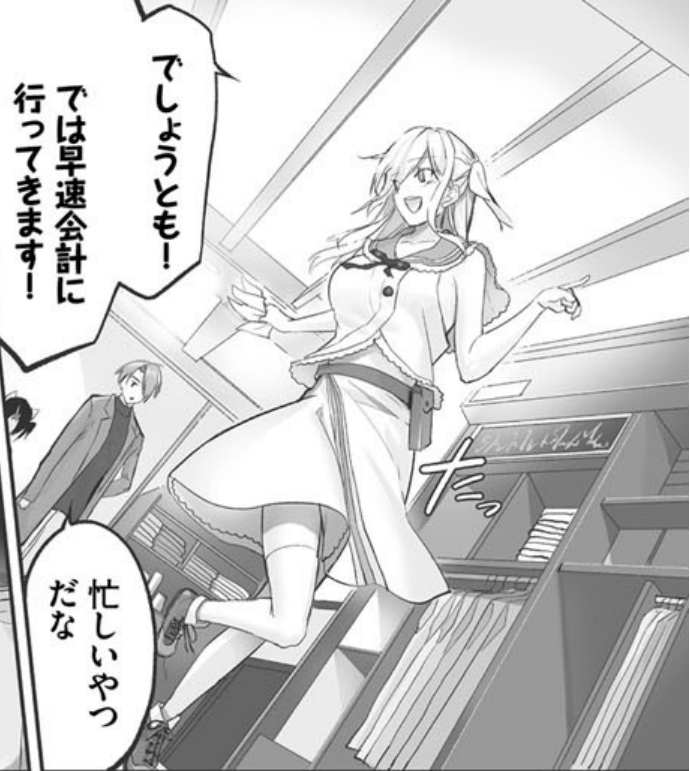
……そう
だったな…









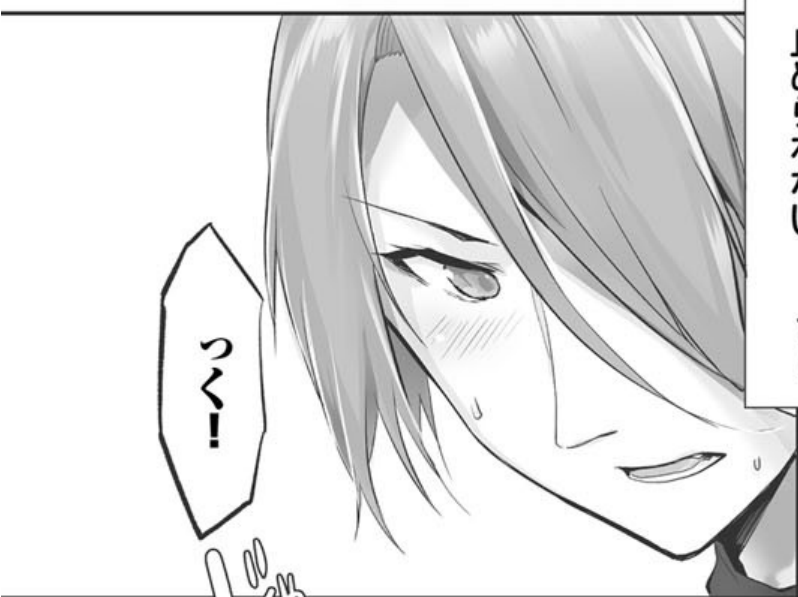




淫紋の効果なのかは
分かんが…



いつもと服装が
違うせいなのか？



止められない——っ!!





このまま口の中へ
おもいつきりー

お兄様?
スズネちゃん?



あつああ!
そのとおりだ

ちゅぽん



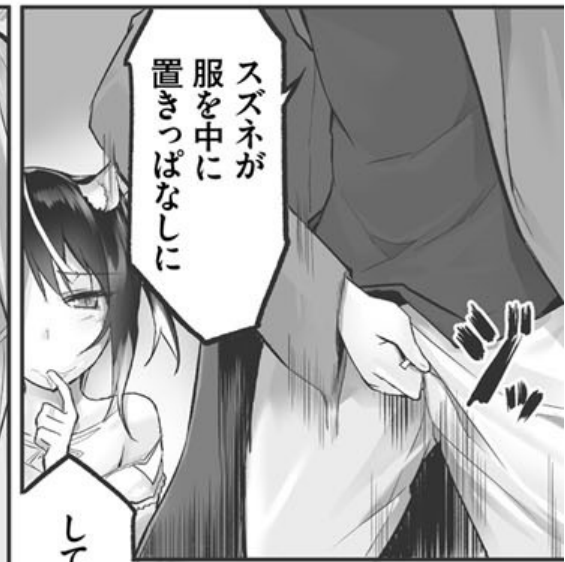
?
更衣室
ですか?

しまっー



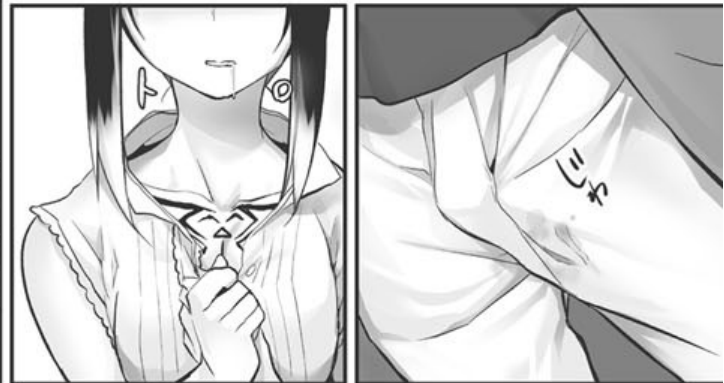
ふーん…

回収していた
ところだっ!



スズネが
服の中に
置きっぱなしに
してたからっ





いろんなお皿が
ありますわね

これは東洋の器で
お茶碗というん
ですって

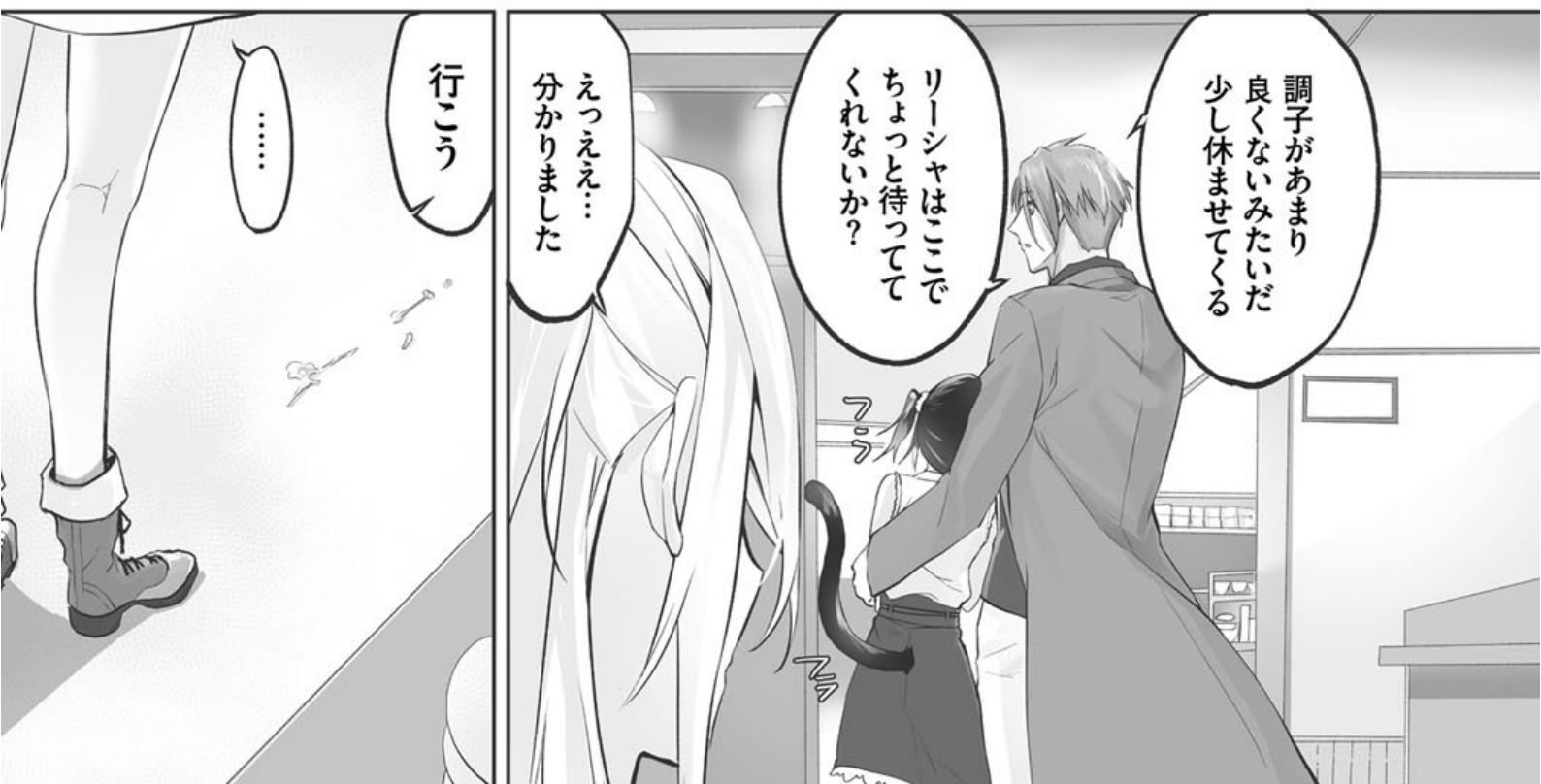
……



どれどれ？

まじっ

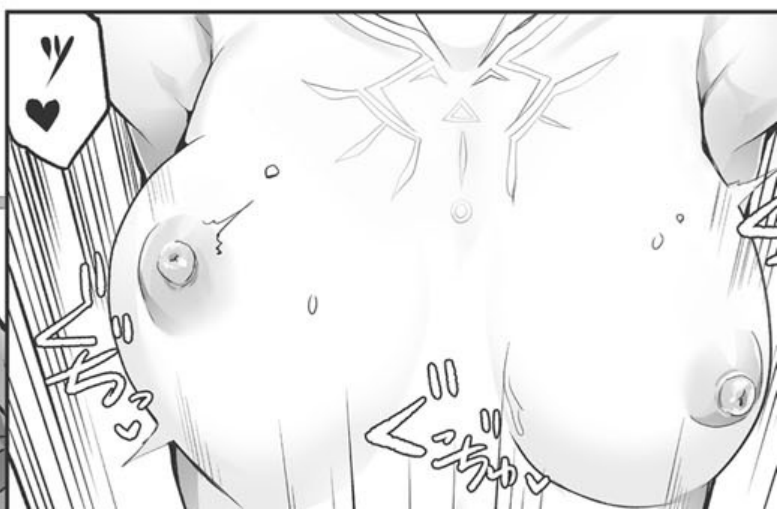
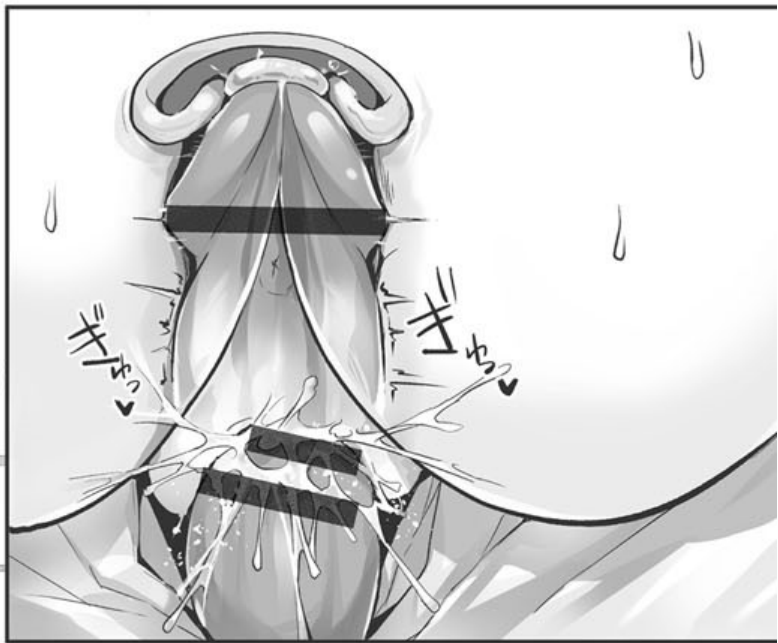
フッ



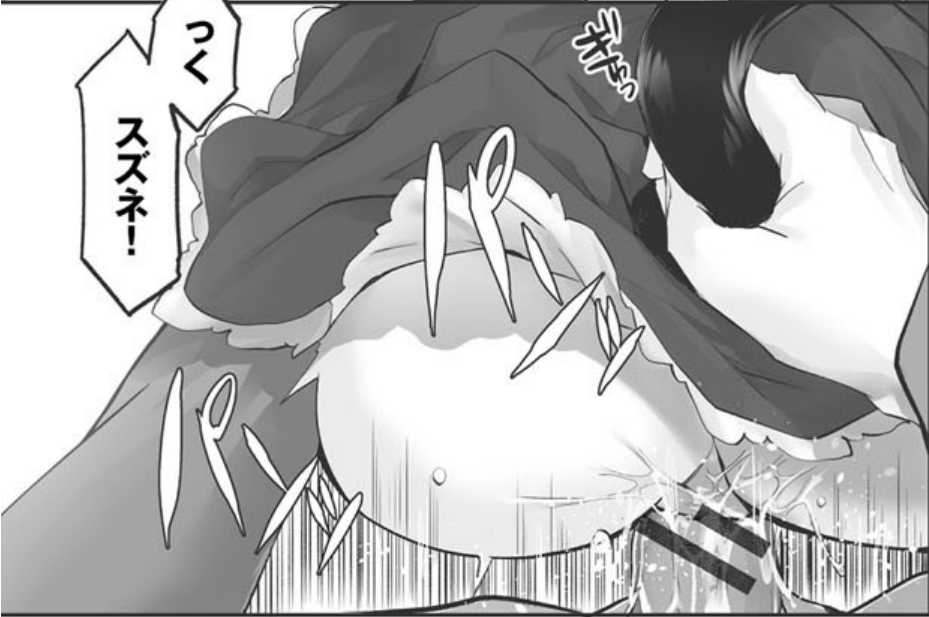












もう射^だ精すぞ!



あ

あらあら…
心配して探しに
来てみれば

…最近
流されて
ばかりだ…

気をつけないと
いつか人に
見つかる

カ
4
ヤ

思ったより
お元気だったようで
安心しましたわっ!!





朝から元気だな
お前は
イカしたんだ

あつ先輩
いいところに！
ヤバイッす！



——深夜まで
説教食らって
しまった…っ

おはよう



いやあ

朝早くに
押しかけて
すまないね

クライアン君

!?

これは珍しい

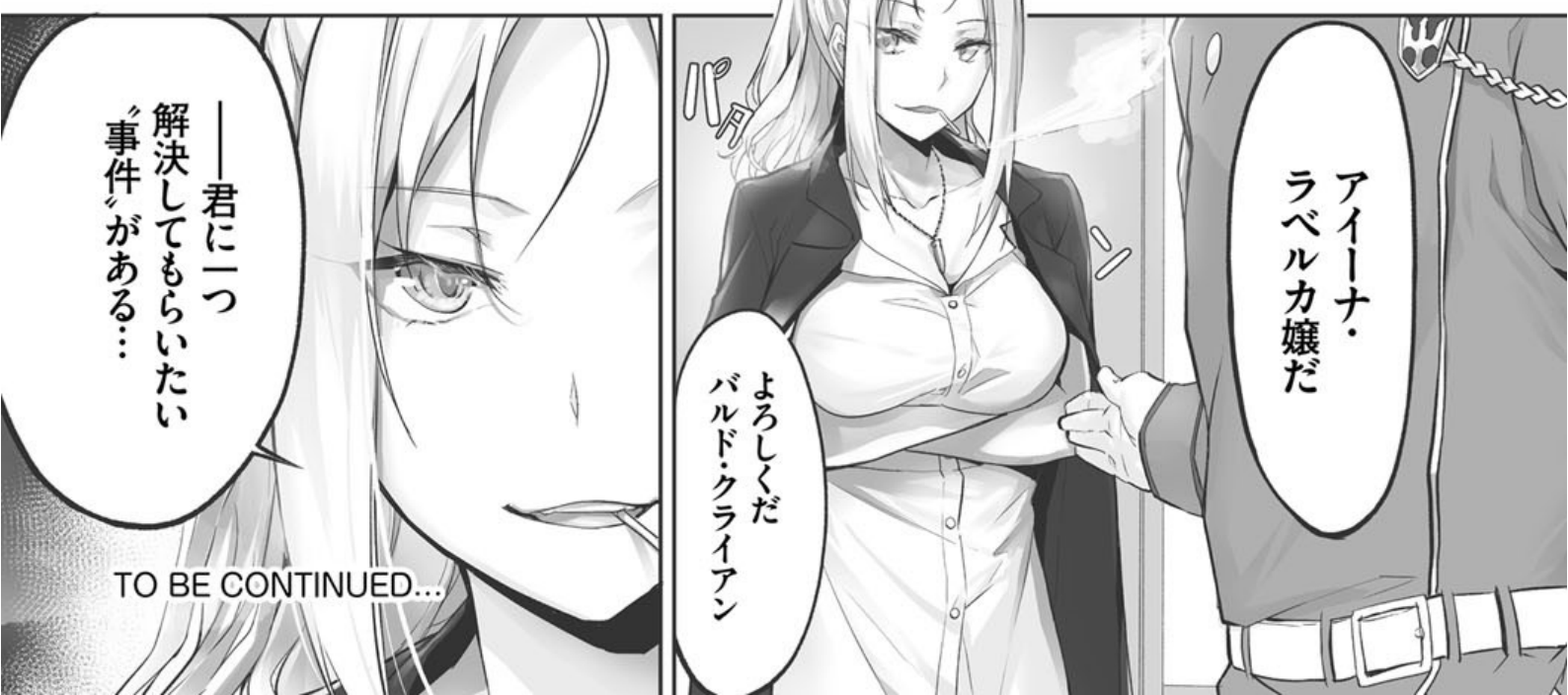


入ってくれ

相変わらず話の
早い男で助かる

実は君に
会いたいという
人物を連れて
きたのだ…

へゼル大佐！
あなたが来たと
いうことは
また特例事件ですか？



——君に一つ
解決してもらいたい
事件がある…

よろしくだ
バルド・クライアン

アイーナ・
ラベルカ嬢だ

TO BE CONTINUED...



武器を主に扱う
大商会の一つ――

だが経営には
手法を選ばず
悪名高く有名だった

――だがアイーナが
代表になり
一気に透明化された

まず取引先として
国家を相手取り
国家もこれに応じた

結果…違法な武器が
世に出回らなくなり

――逆に憲兵の
武器品質が向上し
治安が安定した…

お前が
憲兵になった時には
ラベルカ製の武器が
支給されてたろ？

確かに…
よく見たら！

……お前
技術部出身者じゃ
なかったっけ？

――本件は
そんな彼女の
直々の依頼だ
気合い入れてけ！

まあい…





ああ問題なく

こっちもOKっス

私は屋敷の
屋根の梁の上だ
状況を見て
作戦を指示する



二人共
聞こえるか？



手はずどおり
頼んだぞ…

了解だ

期待しているぞ
拳銃の名手
ブッッ



奴隷なんて死んだら
また買い直せば
良くないっスか？



何かあった場合
真っ先に救助に
行ける位置に
いたいんだろ？

へえー
でも…



しかし彼女は
なんでこんな
危険なことを
率先してやるん
ですかね？

彼女の専属奴隷が
現場に囚として
配置されている…



獣耳のリコリス①



——君はもっと
冷徹な男だと
思っていたのだが…

ああ…そつだ…
これは任務だ——

奴隷には
悪いが…
このまま静観だ

いつも見てきた光景
奴隷は奴隷…
この国の商品で
その番人が俺達憲兵だ

私の送った奴隷が
武器を回収次第
作戦を開始する——

奴隷はモノで
所有者のモノ…

欲望のまま
扱われるのが
当たり前——

でも本当に——
そつなのか？

仕方ない…
こと…
なのか…？

泣いてるじゃないか？

ヤァッ

ヤァッ

ンゲッ！

ヤァッ

濡れてないのに
痛いだろう…？

息できなくて
苦しんだら…？

ギギ



『助けてはならない
理由になるのか？』

オラッ！
いい声で鳴けよ！



今回のクライアントは
多少壊れているのが
好きな変わりもんだ！



好きなように
楽しんでから
納品でいいんだと！



割がいい話だ！



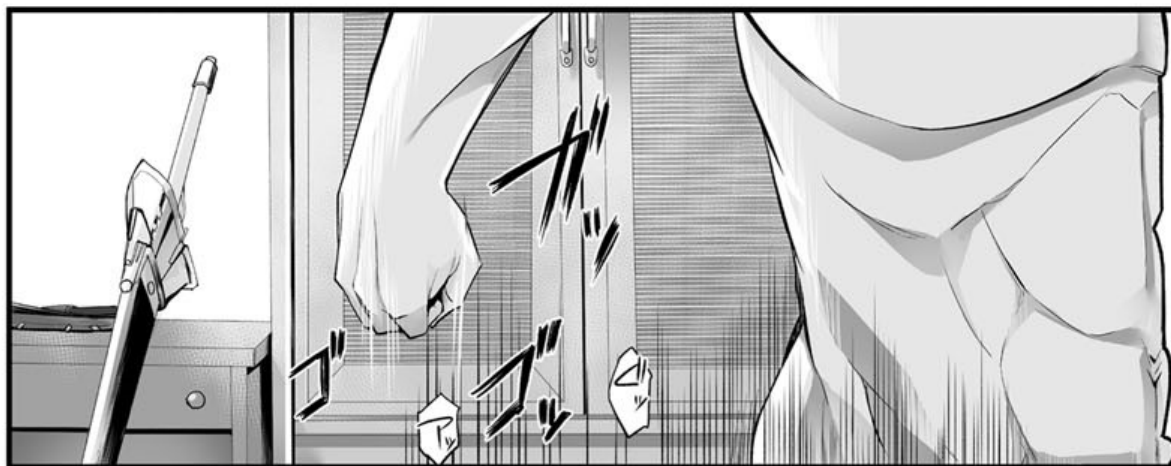


ほんとラベルカ商会
様様だよな！
あの武器チラつかせて
『交渉』すりゃ…

ガッ
ガッ
ガッ



痛い…
助け—



こんなおいしい
仕事にありつけるん
だもんなあ！

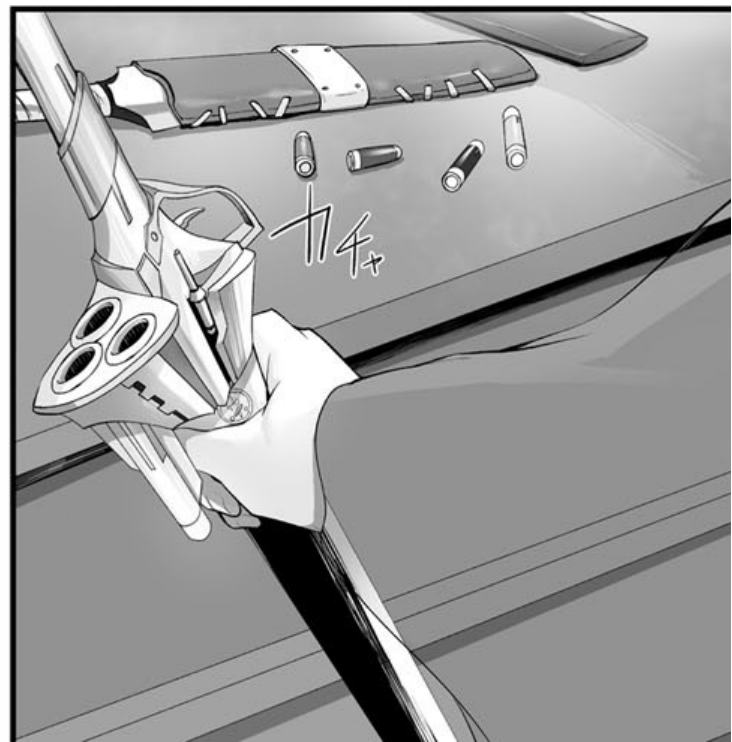
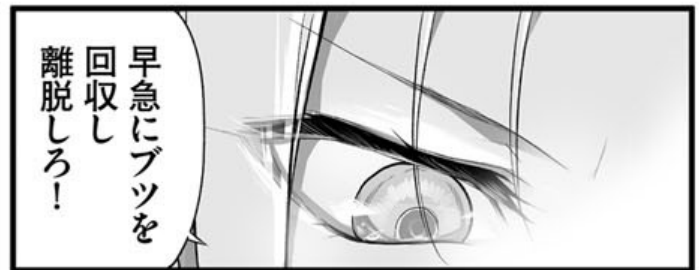
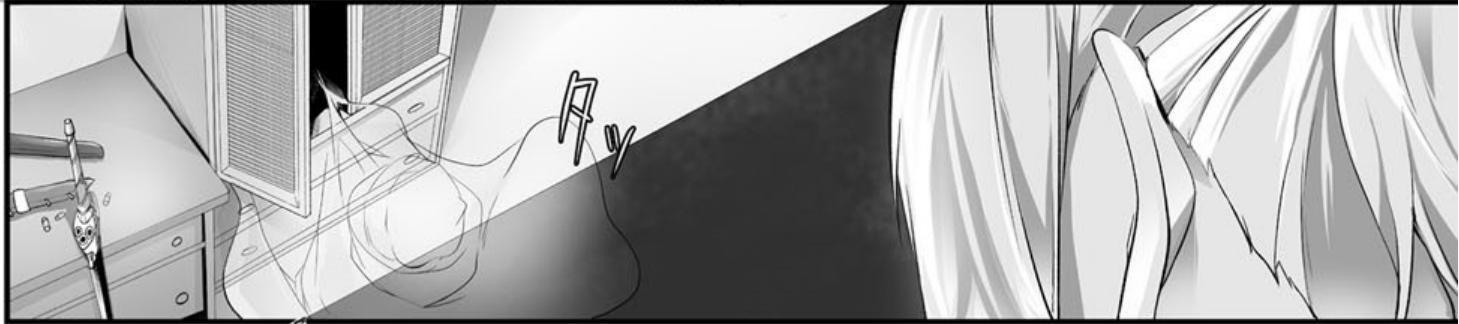


イヤッ
やめッ！



ほら立て！
次はケツに
突っ込んでやる！

キヤッ









我が社の武器を
胸糞悪いことに
使ったツケは
ちゃんと払わせたい



何より

このままだと
私も気分が悪い



おいおい
どうした?

急にでけえ
声出しやがって

いっくんがッ
このクソがッ!!



おめえも
同じ目あつて
みつか? あ?

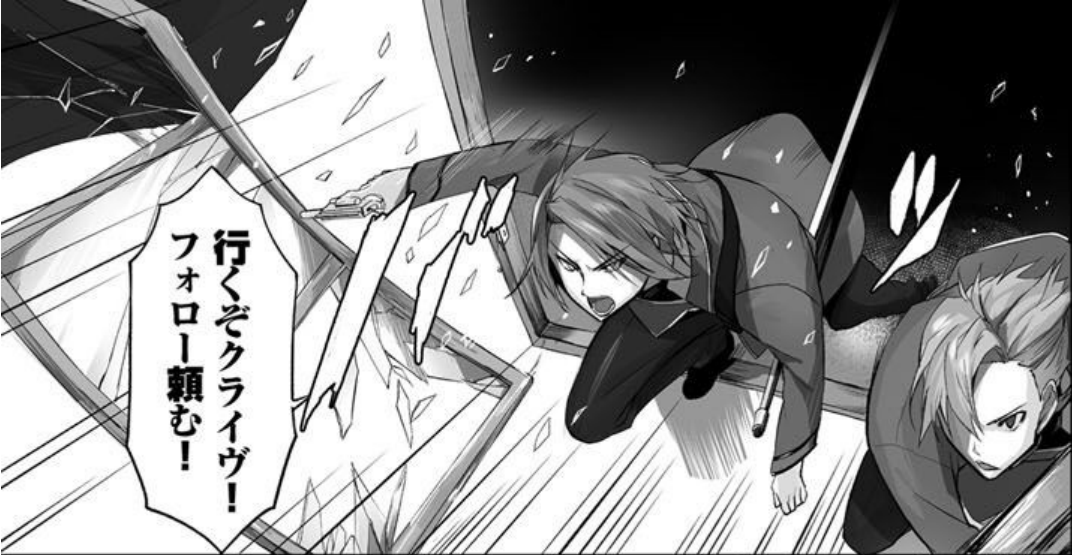


そんな言葉で
許されると
思ってるのか!?

すっ
すみません!

こいつ俺のチンコに
歯立てやがったん
だよ!!





行くぞクライヴ!
フォロー頼む!



魔眼持ちだと
!?

マズい!
見つかった!



大丈夫か!?

クライヴさんだッ



チッ!
悪兵か!

オラ奴隷!
役に立て!

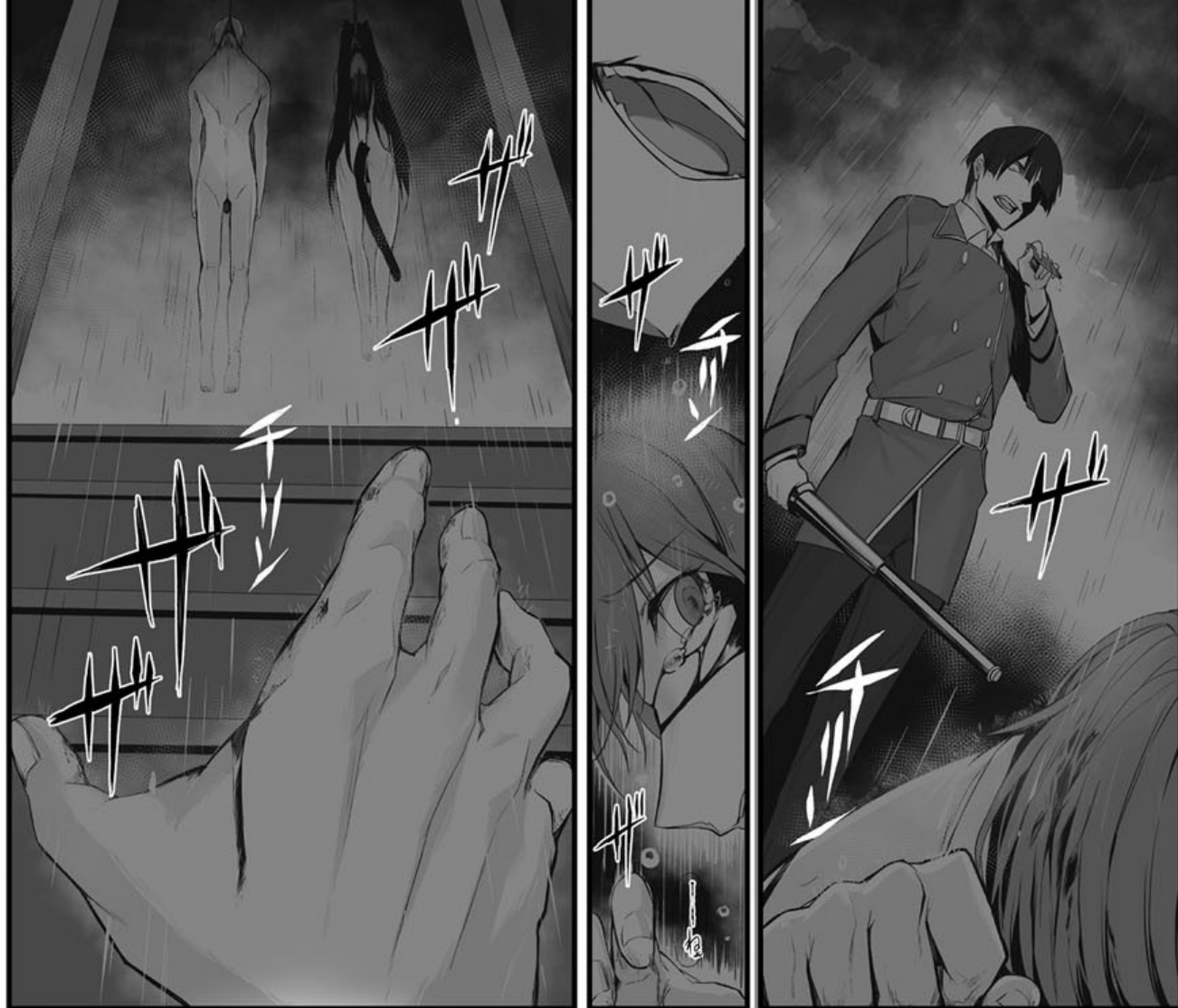


おっちなや!



てめえは
逃さねえ!





バルドくん——
バルドくん——





■2巻へ続く...

電子版限定
描き下ろし
特典コミック
★★★★

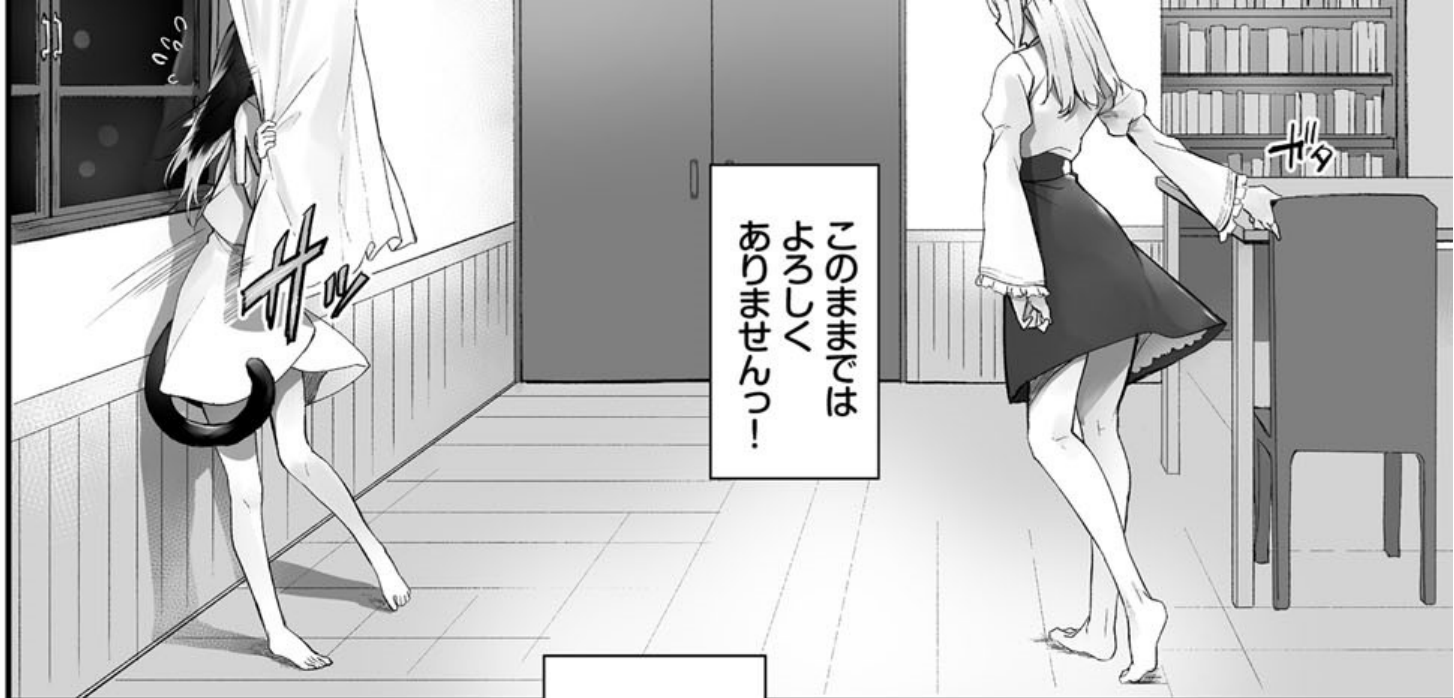
……さて
困りましたわ

スズネちゃんの
魂の色を見るため
半ば無理やりの行為を
強要したからか——

第9.5話

ど警戒されて
ますわ——っ！

ふんふんふんっ！
ずんずんっ！







…抵抗なく
ついてきたけど
ずいぶん従順
なのね…？

もつと警戒されて
逃げ出すかと
思っていましたわ

お風呂は
初めてじゃない
ですわよね？

ですわよね…
‘ホームクルス’には
‘自浄能力’があると
いっても

あのきれいだき
お兄様が
お風呂に入れない
わけなんですわね…

さっ
まずは髪から
洗いましょう♪

控えめな
性格…

幼い体軀

「奴隷」としては
あまりに
魅力に欠ける…

…

製造元も
不明の「奴隷」
ホムズ

さっ次は身体
洗いましょう♪

キュッ

珍しい色の
瞳——

けれど
「奴隷」として
あまり見ない
艶やかな黒髪…

それは素直に
美しいとさえ
思う…

——多分私は
この「コ」を
悪く思っていない

こんなにも

あの^{ホラクルス}奴隷と
重なっていると
いうの…

?

お兄様はそこが
気に入ったの？

ただの偶然…？

それとも…
「コ」が気に入った？

!



ずいぶん
あつたまり
ましたわね…

ちゃ

い

スズネ
ちゃん？

？

スズネちゃんは
お兄様と
どうなりたい？

お兄様と
ずっと一緒に
いたいのか？

…

お兄様はね
多分あなたのこと
とても大事に
思ってる…

だって、奴隷に
関することは
ずっと仕事として
割り切ってきた

……なのに
あなたの前では
すごく自然な顔を
するの…



大丈夫…

何事もなく
日々を過ごせる

信じております
お兄様——



…

…にしてもお兄様
遅いですわね…？

せんぱい！

お仕事忙しく
してらっしゃるの
かしら？

◆つづく◆

あとがき

ご購入いただきありがとうございます!!
念願の紙単行本!! うれしい!!
まさか出せるとは思ってなかったの、本当
うれしい!! 電子版読んでくれた方、
担当さんには本当感謝しかない!!

これからも紙の方でも
本を出していけるお
がんばっています
ので、応援よろしく
お願いします!!

この二人のお話は
ダズコミにて
隔月で最新話が
読めますので、
よろしければ
チェックしてみ
て下さい!!
たまに表紙も
描いています(´▽`)

あとがきまで読んでくれて
ありがとうございます!
ではまたお目に掛かれること
祈りっ。

京59

この作品を読まれた御意見・御感想がありましたら
下記の住所までお送りください。

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-25-4 SH神田南神保町ビル3階
(株)文苑堂「京極燈弥」係

●皆様からのお便り、心よりお待ちしております。

獣耳のリコリス①

発行日

2022年1月8日 初版発行

著者

京極燈弥

©KYOUGOKU TOUYA 2022

発行人

菊地勝男

発行所

株式会社 文苑堂

東京都千代田区神田神保町1-35

電話 03(3291)2143 営業部

編集

石川義人

装丁

sagaris studio

印刷所

図書印刷株式会社

※無断転写・複製・転載を禁じます。

※落丁・乱丁本は小社でお取り替えいたします。

※本書掲載作品は全てフィクションです。

実在の人物・団体・事件などとは一切関係ありません。

ISBN978-4-86117-384-4

Lycoris of Kemomimi

◆ここは、剣と魔法と銃の世界…
傷つき言葉を失った“性玩具”^{ホームクルス}を
偶然保護した憲兵『バルド』…。
淫紋を輝かせ精液欲しがる獣娘。
幼少の記憶がなく空っぽな青年。
数奇な2人の共同性活が今始まる!

愚か者は
猫耳奴隷に依存する
初めての調教生活

14

京極燈弥

愚か者は
猫耳奴隷に依存する
初めての調教生活

最新
14話
配信!

この続きはWEBにて絶賛連載中!!!

公式HP <https://comicbavel.com/dascomi-a/>






Lycoris of Kemomimi

成年
コミック

獣耳の1

Lycoris of Kemomimi

キミを

“飼う”物語。

WEB発!

獣の娘

1日育成シリーズ
待望の単行本化!!

無垢な体躯に刻み込む
快楽と幸福の感情♥

みだらに溺れる同棲性活♥

京極燈弥

